

(様式第10)

厚生労働大臣 殿

三大医病総 第 200 号
 令和 7 年 10 月 5 日
 開設者名 国立大学法人三重大学
 学長 伊藤 正明

三重大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
氏名	国立大学法人三重大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

三重大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒514-8507 三重県津市江戸橋2丁目174番地
電話(059)232-1111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

○	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科							
内科と組み合わせた診療科名等							
○	1呼吸器内科		2消化器内科	○	3循環器内科	○	4腎臓内科
	5神経内科	○	6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							
消化器内科：消化器・肝臓内科にて医療を提供している。 神経内科：脳神経内科にて医療を提供している。 内分泌内科、代謝内科：糖尿病・内分泌内科にて医療を提供している。 リウマチ科：リウマチ・膠原病内科にて医療を提供している。							

- (注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科							
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科	○	3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科			
歯科と組み合わせた診療科名			
	1小児歯科		2矯正歯科
○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制			

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	脳神経内科	2	消化器・肝臓内科	3	腫瘍内科	4	糖尿病・内分泌内科	5	緩和ケア内科
6	病理診断科	7	移植外科	8	形成外科	9	リウマチ・膠原病内科	10	リハビリテーション科
11	漢方内科	12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
30	0	0	0	655	685

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	303	208.3	511.3	看護補助者	51	診療エックス線技師	0
歯科医師	8	7.1	15.1	理学療法士	16	臨床検査技師	76
薬剤師	67	0.6	67.6	作業療法士	6	衛生検査技師	0
保健師	0	1.3	1.3	視能訓練士	9	その他	0
助産師	45	3.7	48.7	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	616	97.5	713.5	臨床工学士	27	医療社会事業従事者	13
准看護師	0	1.4	1.4	栄養士	0	その他の技術員	53
歯科衛生士	4	0	4	歯科技工士	2	事務職員	263
管理栄養士	6	10	16	診療放射線技師	54	その他の職員	31

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	65	眼科専門医	12
外科専門医	50	耳鼻咽喉科専門医	10
精神科専門医	10	放射線科専門医	29
小児科専門医	24	脳神経外科専門医	13
皮膚科専門医	11	整形外科専門医	13
泌尿器科専門医	7	麻酔科専門医	11
産婦人科専門医	18	救急科専門医	16
		合計	289

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (佐久間 肇) 任命年月日 令和 7 年 4 月 1 日

医療安全管理委員会委員、未承認新規医薬品・医療機器評価委員会委員長として、業務を経験。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
--	-------	-----	----

1日当たり平均入院患者数	497.7	人	6.1	人	503.8	人
1日当たり平均外来患者数	1367.5	人	68.5	人	1436	人
1日当たり平均調剤数	入院710.8 外来45.3 計756.1					剤
必要医師数	130.6					人
必要歯科医師数	5.0					人
必要薬剤師数	17.0					人
必要(准)看護師数	300.0					人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	381.7 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	16 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	374	m ²	病床数	31 床
	[移動式の場合]	台数	0	台		
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	53	m ²		
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	423 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	遠心機、自動分析装置		
細菌検査室	147 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	敬鏡、遠心機、安全キャビネット、高圧蒸気滅菌器、自動分析装置		
病理検査室	236 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	顕微鏡、染色装置、局所排気装置		
病理解剖室	32 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	電動昇降式解剖台		
研究室	758 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	遺伝子解析装置、液体クロマトグラフ、自動洗浄機		
講義室	1617 m ²	鉄筋コンクリート	室数	19 室	収容定員	1193 人
図書室	759 m ²	鉄筋コンクリート	室数	2 室	蔵書数	55180 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	89.7	%	逆紹介率	73.1	%
算出根拠	A: 紹介患者の数		14008 人		
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		12198 人		
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		973 人		
	D: 初診の患者の数		16694 人		

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
山崎 正法	公益財団法人暴力追放 三重県民センター 専務理事兼事務局長		医療を受ける者その他の 医療従事者以外の者	無	2
片山 眞洋	片山総合法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は 法律に関する識見を 有する者その他の学識 経験を有する者	無	1
小池 敦	三重県立看護大学 看護学部 教授		医療を受ける者その他の 医療従事者以外の者	無	2
鈴木 明	浜松医科大学医学部附 属病院医療安全管理室 特任准教授	○	医療に係る安全管理又は 法律に関する識見を 有する者その他の学識 経験を有する者	無	1

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法 本学ホームページへ掲載。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数 (人)
子宮内細菌叢検査2	46人
子宮内膜受容能検査2	5人
膜構造を用いた生理学的精子選択術	33人
先進医療の種類の合計数	3
取扱い患者数の合計(人)	84人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
インターフェロン α 皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法	0人
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 早期胃がん	0人
先進医療の種類の合計数	2
取扱い患者数の合計(人)	0人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	内視鏡手術用支援機器を用いた腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 内視鏡手術用支援機器を用いた腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術			
医療技術名	ロボット支援下肺悪性腫瘍手術 気管支形成を伴う肺切除	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 ロボット支援下肺悪性腫瘍手術 気管支形成を伴う肺切除			
医療技術名	ロボット支援手術(咽頭、下咽頭悪性手術、中咽頭悪性腫瘍手術〔前壁切除〕、中咽頭悪性腫瘍手術〔前壁以外〕)	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 ロボット支援手術(咽頭、下咽頭悪性手術、中咽頭悪性腫瘍手術〔前壁切除〕、中咽頭悪性腫瘍手術〔前壁以外〕)			
医療技術名	僧帽弁形成術(胸腔鏡下)	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 僧帽弁形成術(胸腔鏡下)			
医療技術名	僧帽弁置換術(胸腔鏡補助下)	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 僧帽弁置換術(胸腔鏡補助下)			
医療技術名	頭頸部アルミノックス治療	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 頭頸部アルミノックス治療			
医療技術名	内視鏡手術用支援機器を用いた腹腔鏡下総胆管拡張症手術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 内視鏡手術用支援機器を用いた腹腔鏡下総胆管拡張症手術			
医療技術名	ロボット支援下高難度肝切除(1区域切除(外側区域切除を除く)、2区域切除、3区域切除以上、亜区域切除)	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 ロボット支援下高難度肝切除(1区域切除(外側区域切除を除く)、2区域切除、3区域切除以上、亜区域切除)			
医療技術名	ダヴィンチSPを用いたロボット支援下肺悪性腫瘍手術 ダヴィンチSPを用いたロボット支援下前縦隔悪性腫瘍手術 ダヴィンチSPを用いたロボット支援下肺悪性腫瘍手術 ダヴィンチSPを用いたロボット支援下肺悪性腫瘍手術 ダヴィンチSPを用いたロボット支援下縦隔悪性腫瘍手術 ダヴィンチSPを用いたロボット支援下後縦隔悪性腫瘍手術	取扱患者数	6
当該医療技術の概要 ダヴィンチSPを用いたロボット支援下肺悪性腫瘍手術 ダヴィンチSPを用いたロボット支援下前縦隔悪性腫瘍手術 ダヴィンチSPを用いたロボット支援下肺悪性腫瘍手術 ダヴィンチSPを用いたロボット支援下肺悪性腫瘍手術 ダヴィンチSPを用いたロボット支援下縦隔悪性腫瘍手術 ダヴィンチSPを用いたロボット支援下後縦隔悪性腫瘍手術			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類の合計数	9
取扱い患者数の合計(人)	17

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	6	59	拘束型心筋症	0
2	筋萎縮性側索硬化症	33	60	再生不良性貧血	19
3	脊髄性筋萎縮症	1	61	自己免疫性溶血性貧血	4
4	原発性側索硬化症	0	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
5	進行性核上性麻痺	7	63	免疫性血小板減少症	39
6	パーキンソン病	223	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
7	大脳皮質基底核変性症	4	65	原発性免疫不全症候群	7
8	ハンチントン病	0	66	IgA 腎症	37
9	神経有棘赤血球症	0	67	多発性嚢胞腎	54
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	68	黄色靱帯骨化症	8
11	重症筋無力症	58	69	後縦靱帯骨化症	47
12	先天性筋無力症候群	0	70	広範脊柱管狭窄症	5
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	72	71	特発性大腿骨頭壊死症	42
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	19	72	下垂体性ADH分泌異常症	23
15	封入体筋炎	0	73	下垂体性TSH分泌亢進症	1
16	クロー・深瀬症候群	2	74	下垂体性PRL分泌亢進症	6
17	多系統萎縮症	22	75	クッシング病	6
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	55	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	3	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	25
20	副腎白質ジストロフィー	1	78	下垂体前葉機能低下症	72
21	ミトコンドリア病	7	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	2
22	もやもや病	29	80	甲状腺ホルモン不応症	0
23	プリオン病	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	2
24	亜急性硬化性全脳炎	0	82	先天性副腎低形成症	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	83	アジソン病	0
26	HTLV-1関連脊髄症	3	84	サルコイドーシス	58
27	特発性基底核石灰化症	0	85	特発性間質性肺炎	19
28	全身性アミロイドーシス	60	86	肺動脈性肺高血圧症	45
29	ウルリッヒ病	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
30	遠位型ミオパチー	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	44
31	ベスレムミオパチー	0	89	リンパ脈管筋腫症	3
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	90	網膜色素変性症	22
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	91	バッド・キアリ症候群	1
34	神経線維腫症	23	92	特発性門脈圧亢進症	1
35	天疱瘡	18	93	原発性胆汁性胆管炎	44
36	表皮水疱症	0	94	原発性硬化性胆管炎	5
37	膿疱性乾癬(汎発型)	18	95	自己免疫性肝炎	11
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	96	クローン病	232
39	中毒性表皮壊死症	3	97	潰瘍性大腸炎	378
40	高安動脈炎	16	98	好酸球性消化管疾患	3
41	巨細胞性動脈炎	15	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
42	結節性多発動脈炎	6	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
43	顕微鏡的多発血管炎	28	101	腸管神経節細胞僅少症	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	13	102	ルビンシュタイン・ティビ症候群	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	19	103	CFC症候群	0
46	悪性関節リウマチ	5	104	コストロ症候群	0
47	バージャー病	2	105	チャージ症候群	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
49	全身性エリテマトーデス	188	107	若年性特発性関節炎	3
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	115	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
51	全身性強皮症	107	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	2
52	混合性結合組織病	31	110	ブラウ症候群	0
53	シェーグレン症候群	22	111	先天性ミオパチー	0
54	成人発症スチル病	16	112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	6	113	筋ジストロフィー	8
56	ベーチェット病	50	114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0
57	特発性拡張型心筋症	50	115	遺伝性周期性四肢麻痺	0
58	肥大型心筋症	17	116	アトピー性脊髄炎	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
117	脊髄空洞症	5	175	ウィーバー症候群	0
118	脊髄髄膜瘤	1	176	コフィン・ローリー症候群	0
119	アイザックス症候群	0	177	ジュベール症候群関連疾患	0
120	遺伝性ジストニア	1	178	モワット・ウィルソン症候群	0
121	脳内鉄沈着神経変性症	0	179	ウィリアムズ症候群	1
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	180	ATR-X症候群	0
123	HTRA1関連脳小血管病	0	181	クルーゾン症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	182	アペール症候群	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	183	ファイファー症候群	0
126	ペリー病	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	2	185	コフィン・シリス症候群	0
128	ビッカーズスタッフ脳幹脳炎	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	187	歌舞伎症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	188	多脾症候群	0
131	アレキサンダー病	0	189	無脾症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	190	鰓耳腎症候群	0
133	メビウス症候群	0	191	ウェルナー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	192	コケイン症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
136	片側巨脳症	0	194	ソトス症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	195	ヌーナン症候群	1
138	神経細胞移動異常症	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	197	1p36欠失症候群	0
140	ドラベ症候群	0	198	4p欠失症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	199	5p欠失症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	201	アンジェルマン症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	1	202	スミス・マギニス症候群	0
145	ウエスト症候群	2	203	22q11.2欠失症候群	0
146	大田原症候群	0	204	エマヌエル症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	206	脆弱X症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
150	環状20番染色体症候群	0	208	修正大血管転位症	4
151	ラスムッセン脳炎	0	209	完全大血管転位症	5
152	PCDH19関連症候群	0	210	単心室症	7
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	211	左心低形成症候群	2
154	睡眠時棘徐波活性化を示す発達性てんかん性脳症及びてんかん性脳症	0	212	三尖弁閉鎖症	1
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	2
156	レット症候群	0	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	215	ファロー四徴症	12
158	結節性硬化症	9	216	両大血管右室起始症	3
159	色素性乾皮症	0	217	エプスタイン病	0
160	先天性魚鱗癬	0	218	アルポート症候群	1
161	家族性良性慢性天疱瘡	1	219	ギャロウェイ・モワト症候群	0
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	12	220	急速進行性糸球体腎炎	4
163	特発性後天性全身性無汗症	4	221	抗糸球体基底膜腎炎	1
164	眼皮膚白皮症	0	222	一次性ネフローゼ症候群	43
165	肥厚性皮膚骨膜炎	0	223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1
166	弾性線維性仮性黄色腫	1	224	紫斑病性腎炎	3
167	マルファン症候群/ロイス・ディーツ症候群	4	225	先天性腎性尿崩症	0
168	エーラス・ダンロス症候群	1	226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1
169	メンケス病	0	227	オスラー病	11
170	オクシタル・ホーン症候群	0	228	閉塞性細気管支炎	0
171	ウィルソン病	2	229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1
172	低ホスファターゼ症	1	230	肺胞低換気症候群	0
173	VATER症候群	0	231	α 1-アンチトリプシン欠乏症	0
174	那須・ハコラ病	0	232	カーニー複合	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
233	ウォルフラム症候群	0	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	292	総排泄腔外反症	0
235	副甲状腺機能低下症	1	293	総排泄腔遺残	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2	296	胆道閉鎖症	7
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	297	アラジール症候群	1
240	フェニルケトン尿症	0	298	遺伝性膀胱炎	0
241	高チロシン血症1型	0	299	嚢胞性線維症	0
242	高チロシン血症2型	0	300	IgG4関連疾患	13
243	高チロシン血症3型	0	301	黄斑ジストロフィー	1
244	メープルシロップ尿症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
245	プロピオン酸血症	0	303	アッシャー症候群	0
246	メチルマロン酸血症	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
247	イソ吉草酸血症	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	306	好酸性副鼻腔炎	56
249	グルタル酸血症1型	0	307	カナバン病	0
250	グルタル酸血症2型	0	308	進行性白質脳症	0
251	尿素サイクル異常症	0	309	進行性ミオクロームスてんかん	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	310	先天異常症候群	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	311	先天性三尖弁狭窄症	0
254	ポルフィリン症	0	312	先天性僧帽弁狭窄症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	313	先天性肺静脈狭窄症	0
256	筋型糖原病	0	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
257	肝型糖原病	1	315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B 関連腎症	0
258	ガラクトースー1ーリン酸ウリジルトランスフェラーゼ 欠損症	0	316	カルニチン回路異常症	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損 症	0	317	三頭酵素欠損症	0
260	シトステロール血症	0	318	シトリン欠損症	1
261	タンジール病	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
262	原発性高カイロミクロン血症	1	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI) 欠損症	0
263	脳腱黄色腫症	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
264	無βリポタンパク血症	0	322	βーケトチオラーゼ欠損症	0
265	脂肪萎縮症	0	323	芳香族Lーアミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
266	家族性地中海熱	2	324	メチルグルタコン酸尿症	0
267	高IgD症候群	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
268	中條・西村症候群	0	326	大理石骨病	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限 る。)	2
270	慢性再発性多発性骨髓炎	0	328	前眼部形成異常	0
271	強直性脊椎炎	8	329	無虹彩症	0
272	進行性骨化性線維異形成症	0	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	2
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0	331	特発性多中心性キャッスルマン病	8
274	骨形成不全症	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
275	タナトフォリック骨異形成症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
276	軟骨無形成症	2	334	脳クレアチン欠乏症候群	0
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	1	335	ネフロン癆	0
278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0	336	家族性低βリポタンパク血症1(ホモ接合体)	0
279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0	337	ホモシスチン尿症	0
280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0	338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2	339	MECP2重複症候群	0
282	先天性赤血球形成異常性貧血	0	340	線毛機能不全症候群(カルタゲナー症候群を含む。)	0
283	後天性赤芽球癆	0	341	TRPV4異常症	0
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0			
285	ファンconi貧血	0			
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0			
287	エプスタイン症候群	0			
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	3			
289	クローンカイト・カナダ症候群	1			
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	2			

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	139
合計患者数(人)	2930

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
医療DX推進体制整備加算	バイオ後続品使用体制加算
初診料の注1、再診料の注1及び外来診療料の注1の規定による情報通信機器を用いた診療	病棟薬剤業務実施加算1
特定機能病院入院基本料 一般病棟 7対1入院基本料	病棟薬剤業務実施加算2
特定機能病院入院基本料 精神病棟 13対1入院基本料	データ提出加算2 許可病床数が200床以上の病院の場合
特定機能病院入院基本料 入院栄養管理体制加算	入退院支援加算1
超急性期脳卒中加算	入退院支援加算 地域連携診療計画加算
診療録管理体制加算2	入退院支援加算 入院時支援加算
医師事務作業補助体制加算1	入退院支援加算 総合機能評価加算
急性期看護補助体制加算	医療的ケア児(者)入院前支援加算
急性期看護補助体制加算(夜間急性期看護補助体制加算)	せん妄ハイリスク患者ケア加算
急性期看護補助体制加算(夜間看護体制加算)	精神疾患診療体制加算1、2
急性期看護補助体制加算(看護補助体制充実加算)	排尿自立支援加算
看護職員夜間配置加算 看護職員夜間12対1配置加算2	地域医療体制確保加算
看護職員夜間配置加算 看護職員夜間12対1配置加算1	救命救急入院料3
看護補助加算2	救命救急入院料 救急体制充実加算1
看護補助加算(看護補助体制充実加算)	救命救急入院料 小児加算
療養環境加算	救命救急入院料 早期離床・リハビリテーション加算
重症者等療養環境特別加算	救命救急入院料 早期栄養介入管理加算
無菌治療室管理加算1	特定集中治療室管理料1
無菌治療室管理加算2	特定集中治療室管理料 小児加算
放射線治療病室管理加算(密封小線源による治療の場合)	ハイケアユニット入院医療管理料1
緩和ケア診療加算	ハイケアユニット入院医療管理料 早期離床・リハビリテーション加算
精神科身体合併症管理加算	特定集中治療室管理料1(算定上限日数に係る施設基準)
依存症入院医療管理加算	特定集中治療室管理料1(早期離床・リハビリテーション加算)

摂食障害入院医療管理加算	新生児特定集中治療室管理料1
がん拠点病院加算 がんゲノム拠点病院加算	総合周産期特定集中治療室管理料 母体・胎児集中治療室管理料
栄養サポートチーム加算	総合周産期特定集中治療室管理料 成育連携支援加算
医療安全対策加算1	新生児治療回復室入院医療管理料
感染対策向上加算1	小児入院医療管理料2
感染対策向上加算 指導強化加算	小児入院医療管理料 プレイルーム加算 保育士1名以上の場合
患者サポート体制充実加算	小児入院医療管理料 養育支援体制加算
重症患者初期支援充実加算	小児入院医療管理料2(無菌治療管理加算)
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	看護職員処遇改善評価料60
ハイリスク妊娠管理加算	入院時食事療養／生活療養(Ⅰ)
ハイリスク分娩管理加算	歯科診療特別対応連携加算
呼吸ケアチーム加算	地域歯科診療支援病院歯科初診料
術後疼痛管理チーム加算	歯科外来診療感染対策加算3
後発医薬品使用体制加算1	歯科外来診療医療安全対策加算2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
心臓ペースメーカー指導管理料 遠隔モニタリング加算	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅴ(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
糖尿病合併症管理料	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
がん性疼痛緩和指導管理料	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。) (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)【手術通則18】
がん患者指導管理料イ	内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
がん患者指導管理料ロ	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
がん患者指導管理料ハ	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
がん患者指導管理料ニ	頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
外来緩和ケア管理料	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(MRIによるもの)
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	乳房切除術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者)
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪切除術(腋窩郭清を伴うもの)
糖尿病透析予防指導管理料	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術【一次一次的再建・一次二次的再建及び二次再建】
乳腺炎重症化予防・ケア指導料	乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
婦人科特定疾患治療管理料	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
腎代替療法指導管理料	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
一般不妊治療管理料	胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

生殖補助医療管理料1	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
外来栄養食事指導料 栄養食事指導	肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る)
外来栄養食事指導料 専門的な栄養指導	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 区域切除(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
外来腫瘍化学療法診療料1	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 肺葉切除又は1肺葉を超えるもの(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
外来腫瘍化学療法診療料 連携充実加算	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 気管支形成を伴う肺切除
外来腫瘍化学療法診療料 がん薬物療法体制充実加算	肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
外来放射線照射診療料	内視鏡による縫合術・閉鎖術【食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膣腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)】
開放型病院共同指導料	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
ハイリスク妊産婦連携指導料Ⅰ	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
ハイリスク妊産婦連携指導料Ⅱ	胸腔鏡下弁形成術
こころの連携指導料(Ⅱ)	経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的 大動脈弁置換術)
がん治療連携計画策定料	経カテーテル弁置換術(経皮的肺動脈弁置換術)
認知症専門診断管理料	胸腔鏡下弁置換術
肝炎インターフェロン治療計画料	経皮的僧帽弁クリップ術
外来排尿自立指導料	不整脈手術 左心耳閉鎖 胸腔鏡下によるもの
薬剤管理指導料	不整脈手術 左心耳閉鎖 経カテーテル的手術によるもの

診療情報提供料(Ⅰ) 地域連携診療計画加算	経皮的中隔心筋焼灼術
電子的診療情報評価料	ペースメーカー移植術(リードレスペースメーカー)
診療情報提供料(Ⅰ) 検査・画像情報提供加算	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
医療機器安全管理料2	両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
医療機器安全管理料1	両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
救急患者連携搬送料	植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
在宅血液透析指導管理料	植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極拔去術
在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
骨髓微小残存病変量	補助人工心臓
BRCA1/2遺伝子検査 腫瘍細胞を検体とするもの	経皮的下肢動脈形成術
BRCA1/2遺伝子検査 血液を検体とするもの	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
がんゲノムプロファイリング検査	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
遺伝学的検査	骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
染色体検査 注2に係る絨毛染色体検査	内視鏡的逆流防止粘膜切除術

先天性代謝異常症検査	腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
微生物核酸同定・定量検査 ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)	腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
微生物核酸同定・定量検査 HPV核酸検出	腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
微生物核酸同定・定量検査 HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
微生物核酸同定・定量検査 ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
検体検査判断料 検体検査管理加算(Ⅰ)	腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
検体検査判断料 検体検査管理加算(Ⅳ)	胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る)
検体検査判断料 国際標準検査管理加算	腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
検体検査判断料 遺伝カウンセリング加算	腹腔鏡下肝切除術(部分切除及び外側区域切除)
検体検査判断料 遺伝性腫瘍カウンセリング加算	腹腔鏡下肝切除術(亜区域切除、1区域切除(外側区域切除を除く。)、2区域切除及び3区域切除以上のもの)
心臓カテーテル法による諸検査 血管内視鏡検査加算	生体部分肝移植術
時間内歩行試験	同種死体肝移植術
シャトルウォーキングテスト	腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
超音波検査 心臓超音波検査 胎児心エコー法	腹腔鏡下膵中央切除術
ヘッドアップティルト試験	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
長期継続頭蓋内脳波検査	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

脳波検査判断料1	腹腔鏡下腭頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合を除く。)
神経学的検査	腹腔鏡下腭頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
補聴器適合検査	腹腔鏡下腭頭部腫瘍切除術
黄斑局所網膜電図	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
全視野精密網膜電図	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
ロービジョン検査判断料	内視鏡的小腸ポリープ切除術
コンタクトレンズ検査料1	腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
内服・点滴誘発試験	副腎腫瘍ラジオ波焼灼療法
経頸静脈的肝生検	腹腔鏡下腎悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
経気管肺生検法(CT透視下気管支鏡検査加算)	腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
ポジトロン断層撮影	同種死体腎移植術
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	生体腎移植術
コンピューター断層撮影(CT撮影及びMRI撮影)	膀胱水圧拡張術 ハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)
コンピューター断層撮影(CT撮影) 冠動脈CT撮影加算	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
コンピューター断層撮影(CT撮影) 外傷全身CT加算	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
血流予備量比コンピューター断層撮影	人工尿道括約筋植込・置換術

磁気共鳴コンピューター断層撮影(MRI撮影) 肝エラストグラフィ加算	膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外) 埋没陰茎手術 陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
磁気共鳴コンピューター断層撮影(心臓MRI撮影加算)	精巣内精子採取術
磁気共鳴コンピューター断層撮影(乳房MRI撮影加算)	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
磁気共鳴コンピューター断層撮影(頭部MRI撮影加算)	腹腔鏡下仙骨膣固定術
画像診断管理加算1	腹腔鏡下仙骨膣固定術(内視鏡手術用支援機器を用いた場合)
画像診断管理加算4	腹腔鏡下膣式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
処方料 抗悪性腫瘍剤処方管理加算	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍術(子宮体がんに限る)
無菌製剤処理料	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍術(子宮頸がんに限る)
外来化学療法加算1	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	子宮附属器腫瘍摘出術(両側)(遺伝性乳癌卵巣癌症候群の患者)
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	胎児胸腔・羊水腔シャント術
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	体外式膜型人工肺管理料
摂食機能療法 摂食嚥下機能回復体制加算2	輸血管理料Ⅰ
がん患者リハビリテーション料	輸血管理料 貯血式自己血輸血管理体制加算
通院・在宅精神療法 療養生活継続支援加算	自己生体組織接着剤作成術
認知療法・認知行動療法1 医師による場合	同種クリオプレシピテート作製術

精神科ショート・ケア 小規模なもの	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
精神科デイ・ケア 小規模なもの	胃瘻造設時嚥下評価機能加算
抗精神病特定薬剤治療指導管理料 治療抵抗性統合失調症 治療指導管理料	麻酔管理料(Ⅰ)
医療保護入院等診療料	周術期薬剤管理加算
静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)	麻酔管理料(Ⅱ)
硬膜外自家血注入	放射線治療管理料(放射線治療専任加算)
エタノールの局所注入(甲状腺)	放射線治療管理料(外来放射線治療加算)
エタノールの局所注入(副甲状腺)	体外照射 強度変調放射線治療(IMRT)
人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)	1回線量増加加算(前立腺照射)
人工腎臓 導入期加算3	体外照射 高エネルギー放射線治療 一回線量増加加算
人工腎臓(透析液水質確保加算2)	体外照射 強度変調放射線治療(IMRT) 一回線量増加加算
血漿交換療法(難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法)	体外照射(画像誘導放射線治療加算 (IGRT))
血漿交換療法(移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法)	体外照射 体外照射呼吸性移動対策加算
ストーマ処置 ストーマ合併症加算	直線加速器による放射線治療 定位放射線治療の場合
皮膚悪性腫瘍切除術 センチネルリンパ節加算を算定する場合	直線加速器による放射線治療(定位放射線治療呼吸移動対策加算)
皮膚移植術(死体)	密封小線源治療(画像誘導密封小線源治療加算)
組織拡張器による再建手術(一連につき) 乳房(再建手術)の場合	デジタル病理画像による病理診断

四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術 処理骨再建加算	病理診断料 病理診断管理加算2
骨悪性腫瘍、類骨・骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法 (一連として)	病理診断料 悪性腫瘍病理組織標本加算
骨悪性腫瘍手術(処理骨再建加算)	保険医療機関間の連携による病理診断
骨移植術(軟骨移植術を含む。)自家培養軟骨移植術	保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術 中迅速病理組織標本作製
骨移植術(軟骨移植術を含む。)同種骨移植(非生体)同種骨 移植(特殊なもの)	保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅 速細胞診
人工股関節置換術(手術支援装置を用いるもの)	看護職員処遇改善評価料
後縦靱帯骨化症手術	外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)
椎間板内酵素注入療法	入院ベースアップ評価料
腫瘍脊椎骨全摘術	歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び 歯科治療時医療管理料
緊急穿頭血腫除去術	口腔細菌定量検査
頭蓋内腫瘍摘出術 原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	歯科口腔リハビリテーション料2
脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激 装置交換術	加圧根管充填処置 手術用顕微鏡加算
癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	歯根端切除手術 歯科用3次元エックス線断層撮影装置及び 手術用顕微鏡を用いた場合
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	広範囲顎骨支持型装置埋入手術
角結膜悪性腫瘍切除手術	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係る ものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。) (歯科診療に係るものに限る。)
角膜移植術(内皮移植加算)	クラウン・ブリッジ維持管理料
羊膜移植術	印象採得 歯科技工士連携加算1

緑内障手術(流出路再建術 眼内法)(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	光学印象 光学印象歯科技工士連携加算
緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあ るもの))	咬合採得 歯科技工士連携加算1
緑内障手術(濾過胞再建術(needle 法))	仮床試適 歯科技工士連携加算1
網膜再建術	CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー
経外耳道的内視鏡下鼓室形成術	歯科技工加算
人工中耳植込術	歯科外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)
人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨 導補助器交換術	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<div>① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。</div> <div>2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。</div>	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	4回/週	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	21例
	剖検率(%)	4.8

)1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(○で囲む等)こ
(注)2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
本邦の集中治療領域における新たなQuality indicatorの構築	中橋奨	医学部附属病院	395,394	補 委	独立行政法人日本学術振興会
骨格筋-脳コミュニケーション異常と敗血症関連脳症：骨格筋エクソソームの役割解明	川本英嗣	医学部附属病院	3,439,893	補 委	独立行政法人日本学術振興会
精神病症状を伴う双極性障害と統合失調症の神経ネットワーク～白質障害の比較解析～	城山隆	医学部附属病院	767,047	補 委	独立行政法人日本学術振興会
医療事故情報の適切な提示を可能とする組織的対応の基礎的知見構築	兼児敏浩	医学部附属病院	164,672	補 委	独立行政法人日本学術振興会
4D flow MRIを用いた大動脈解離の血流評価及び予後予測	東川貴俊	医学部附属病院	1,525,798	補 委	独立行政法人日本学術振興会
DOACがもたらすHMGB1-HIFシグナルに注目した革新的HCC制御機構	野口大介	医学部附属病院	764,239	補 委	独立行政法人日本学術振興会
ヒト脳脊髄液の多角的プロテオミクスによる術後せん妄の機序解明および創薬標的の探索	中森裕毅	医学部附属病院	2,165,792	補 委	独立行政法人日本学術振興会
VR(仮想現実感)による術後せん妄予防：ICU入室患者での検討	江角亮	医学部附属病院	2,151,813	補 委	独立行政法人日本学術振興会
脳アミロイド血管症：ペントラキシン3を標的とした新規治療法の開発	新堂晃大	医学部附属病院	941,540	補 委	独立行政法人日本学術振興会
聴覚変化応答と脳内抑制系を標的とした双極性障害の神経認知の探索	元村英史	医学部附属病院	1,115,146	補 委	独立行政法人日本学術振興会
放射線性心臓障害における免疫学的機序の解明	豊増泰	医学部附属病院	2,257,949	補 委	独立行政法人日本学術振興会
難治性B細胞リンパ腫の腫瘍起源の解明と治療法の探索	宮崎香奈	医学部附属病院	1,648,825	補 委	独立行政法人日本学術振興会
治療抵抗性乳癌に対するGD2を標的とした新規免疫療法の開発	齋藤佳菜子	医学部附属病院	1,013,229	補 委	独立行政法人日本学術振興会
Micro CTによる先天性心疾患の高精細3Dアトラス作成と心内組織三次元可視化	山崎誉斗	医学部附属病院	1,301,099	補 委	独立行政法人日本学術振興会
エクソソームPD-L1が敗血症性免疫麻痺を誘導するメカニズムの解明	川本英嗣	医学部附属病院	152,980	補 委	独立行政法人日本学術振興会
インテグリン・ターゲティングによる新型コロナウイルス誘導性ARDSの治療法開発	今井寛	医学部附属病院	2,063,223	補 委	独立行政法人日本学術振興会
コンピューター数値流体力学解析および動的造影MRIによる脳動脈瘤の壁性状の検討	三浦洋一	医学部附属病院	1,022,681	補 委	独立行政法人日本学術振興会
地域圏統合型医療情報データベースを活用したヨード造影剤の安全使用に係る提言	兼児敏浩	医学部附属病院	1,837,426	補 委	独立行政法人日本学術振興会
細胞膜透過性亢進を利用した腫瘍凍結療法の新規技術開発	藤森将志	医学部附属病院	902,174	補 委	独立行政法人日本学術振興会
機械学習を用いてBRVOの治療予後を黄斑部OCT画像から予測する	松井 良論	医学部附属病院	366,228	補 委	独立行政法人日本学術振興会
医療的ケアが昼夜必要な在宅療養児の養育者の生活に即した地域包括支援システムの構築	岩本彰太郎	医学部附属病院	100,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
新型コロナウイルス感染症拡大が出生率に及ぼす影響と子育て支援に関する探索的研究	池田若葉	医学部附属病院	954,204	補 委	独立行政法人日本学術振興会
小児急性骨髄性白血病に対する免疫学的アジュバント療法の探索的研究	岩本彰太郎	医学部附属病院	1,437,760	補 委	独立行政法人日本学術振興会
膵癌進展の病態伝播を担う細胞外小胞の機能解明～臨床応用を目指して～	坪井順哉	医学部附属病院	1,646,822	補 委	独立行政法人日本学術振興会
胆汁酸を起点とした肝筋連関の解明と肝性サルコペニアの診断・治療	岩佐元雄	医学部附属病院	1,131,286	補 委	独立行政法人日本学術振興会
MR関連高血圧症による心不全発症メカニズムの解明	岡本隆二	医学部附属病院	786,063	補 委	独立行政法人日本学術振興会
透析患者における冠動脈形成術後の至適抗血小板薬投与期間と炎症マーカーとの関連	栗田泰郎	医学部附属病院	1,382,175	補 委	独立行政法人日本学術振興会
酪酸産生菌によるウイルス性呼吸器感染症に対する治療効果の検討とその作用機序の解明	加藤秀雄	医学部附属病院	150,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
Epigenetic Driftの概念による大腸癌RNAメチル化指標の開発	奥川喜永	医学部附属病院	3,036,300	補 委	独立行政法人日本学術振興会
心停止後症候群におけるPD-L1を介した免疫機能制御不全の分子メカニズムの解明	池尻薫	医学部附属病院	2,307,568	補 委	独立行政法人日本学術振興会
肺炎・腎不全-関連ICUせん妄の予測AIモデルの開発とフィジビリティ検証	新貝達	医学部附属病院	2,755,929	補 委	独立行政法人日本学術振興会
多血小板血漿由来エクソソームを用いた椎間板再生治療の開発	明田浩司	医学部附属病院	1,002,267	補 委	独立行政法人日本学術振興会
胎児の脳損傷を予防するための心拍細変動解析による分娩監視指標の開発	真川祥一	医学部附属病院	1,622,799	補 委	独立行政法人日本学術振興会
分娩時胎児酸素化能改善を目的とした母体へのタダラフィル投与の安全性についての検証	田中博明	医学部附属病院	1,861,782	補 委	独立行政法人日本学術振興会
頭頸部癌の化学放射線療法の効果を高め、有害事象を抑制する新規抗miR-21療法	石永一	医学部附属病院	1,452,488	補 委	独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
cAMP-PDE2シグナル伝達の区画化の概念による悪性黒色腫の新たな治療方法	村田琢	医学部附属病院	1,407,949	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
COVID-19によるパンデミック後の新興感染症対策の再構築にかかる研究	田辺正樹	医学部附属病院	2,308,010	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
誤嚥性肺炎の経験的治療におけるセフトリアキソンの有効性および至適投与法の探索	加藤秀雄	医学部附属病院	956,211	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
心腎連関に基づいた高齢心不全患者における抗不整脈薬の新たな投与量設計法の確立	朝居祐貴	医学部附属病院	713,525	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
マルチパラメトリックMRI解析による小児脳腫瘍の診断と治療効果判定の有用性の検討	小久江良太	医学部附属病院	778,873	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
ホスホジエステラーゼ5阻害薬：タダラフィル投与による胎児発育改善のメカニズム解明	真木晋太郎	医学部附属病院	178,228	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
妊婦および新生児サイトメガロウイルススクリーニング体制の両立に向けた研究	鳥谷部邦明	医学部附属病院	1,100,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
自然免疫と転写因子の関連性を介したB型肝炎ウイルス新規治療法の開発	爲田雅彦	医学部附属病院	3,054,731	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
抜去されたPS型脛骨インサートにおけるpostの損傷メカニズムと酸化劣化の解析	刀根慎恵	医学部附属病院	300,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
男性不妊治療改善に向けた細胞外耐凍剤と抗酸化化合物が凍結精子に与える影響の解明	前沢忠志	医学部附属病院	1,458,905	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
Th1/Th2バランスをターゲットとしたPDE5阻害薬による流産改善効果の検証	高山恵理奈	医学部附属病院	1,413,786	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
タダラフィル母体投与が胎児発育不全児の神経学的予後を改善するメカニズムの解明	二井理文	医学部附属病院	944,354	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
入院関連能力障害に対する包括的予防戦略の確立	百崎良	医学部附属病院	2,170,454	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
フローサイトメトリー法を用いた抗体医薬品の一斉測定法の新規開発と臨床応用	岩本卓也	医学部附属病院	1,035,560	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
幹細胞様メモリーT細胞分画に優れる γ δ -T細胞の誘導法の検討	石原幹也	医学部附属病院	2,284,418	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
Pan-neuro-glia networkにおける抗精神病薬の作用と有害反応機序の探索	福山孝治	医学部附属病院	1,100,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
パンデミック期間中における自殺特性変化の計量経済学的解析	松本龍介	医学部附属病院	1,200,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
新規プレパルス抑制パラダイムの確立と臨床応用	元村英史	医学部附属病院	150,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
画像解析技術を用いた膵癌の局所組織性状を反映した画像診断mapの開発	永田幹紀	医学部附属病院	1,512,141	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
ボリュームメトリー、肝線維化指標及び肝細胞機能の総合的画像診断法の開発と臨床応用	市川泰崇	医学部附属病院	1,683,427	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
AFP陽性細胞をターゲットとした新規NASH治療戦略の構築	川村聡	医学部附属病院	2,097,467	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
SLEにおける精神症状発症におけるTREM2を介したマイクログリア活性化機序の解明	有沼良幸	医学部附属病院	1,078,740	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
Neutrophil extracellular traps (NETs) を介した大腸癌進展のあらたな機序解明	安田裕美	医学部附属病院	2,838,214	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
Neutrophil extracellular traps (NETs) を介した食道癌進展の新たな機序の解明	森本雄貴	医学部附属病院	2,078,403	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
胃癌腹膜播種に特異的な非侵襲的DNAメチル化マーカーの開発と精度の検証	志村匡信	医学部附属病院	2,473,148	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
肺移植における熱ショックタンパク質を用いたドナー肺長時間保存法の確立	島本亮	医学部附属病院	2,797,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
メヘモグロビン血症がマクロファージエキソソームを誘導してICUせん妄を引き起こす	羽根敦也	医学部附属病院	1,632,156	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
ECMO管理における感染症早期診断指標の確立：血液凝固波形解析からの検討	鈴木圭	医学部附属病院	1,486,906	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
アミノレブリン酸を用いた骨軟部肉腫に対する光線および放射線力学的療法	中村知樹	医学部附属病院	900,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
イモリの再生における免疫・神経の機能解明	粗野可南子	医学部附属病院	1,944,360	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
ゲノム情報と血中バイオマーカー統合による消化器・肺がんリスクモデルの構築	川口晃司	医学部附属病院	30,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
ゲノム情報と血中バイオマーカー統合による消化器・肺がんリスクモデルの構築	奥川喜永	医学部附属病院	50,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
急性期脳卒中患者の下肢に対する神経筋電気刺激の有効性	山本吉則	医学部附属病院	783,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
正常膵臓及び膵癌の糖代謝における解糖系振動と関連遺伝子の検証	臼杵恵梨	医学部附属病院	1,000,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
アルツハイマー病におけるアミロイド関連画像異常の病態解明と治療の開発	松山裕文	医学部附属病院	1,708,876	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
細菌由来ペプチドの細胞死および線維化誘導メカニズムの解明	岡野優子	医学部附属病院	1,400,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
骨転移病変CADEシステムおよびCADxシステムの開発	蟹井善統	医学部附属病院	2,300,000	⑨ 補 委	独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
改変マウスを用いた肺線維症における肺内細菌叢由来の細胞死誘導因子の役割の検討	都丸敦史	医学部附属病院	1,400,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
遊離型ヘモグロビンの無毒化による出血性脳卒中後の続発性脳損傷抑制法の開発	川北 文博	医学部附属病院	1,200,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
くも膜下出血後早期脳損傷におけるグルタミン酸受容体の役割に関する研究	岡田健	医学部附属病院	900,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
多孔質媒体を用いた数値流体力学による, 脳動脈瘤に対する血管内治療効果予測	辻正範	医学部附属病院	605,435	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
悪性脳腫瘍における尿中バイオマーカーを利用した再発早期発見システムの開発	北野詳太郎	医学部附属病院	1,366,908	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
肝癌進展を担う脂質や過酸化脂質の機能解明`分岐鎖アミノ酸による肝癌治療を目指して`	玉井康将	医学部附属病院	1,740,945	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
炎症性腸疾患寛解期の維持に有効な食品・栄養素の解明	清水昭雄	医学部附属病院	3,949	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
科学的介護情報システムを用いた包括的介護サービス研究	百崎良	医学部附属病院	1,550,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
感染症予防計画のフォローアップ及び感染症指定医療機関の施設基準の見直し	田辺正樹	医学部附属病院	11,000,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
小児から成人の消化管過誤腫性腫瘍好発疾患群の医療水準とQOL向上のため	小池勇樹	医学部附属病院	100,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
小児がん患者在宅以降の円滑化促進と在宅医療における課題とニーズ把握のための研究	岩本彰太郎	医学部附属病院	400,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
先天性心疾患を主体とする小児期発症の心血管難治性疾患の救命率の向上、円滑な移行医療、成人期以降の予後改善を目指した総合的研究	三谷義英	医学部附属病院	900,000	補 委 補	厚生労働省
HIV感染症および血友病におけるチーム医療の構築と医療水準の向上を目指した研究	松本剛史	医学部附属病院	1,500,000	補 委 補	厚生労働省
新型インフルエンザ発生時における疾病負荷の把握のための研究	田辺正樹	医学部附属病院	800,000	補 委 補	厚生労働省
生活期リハビリテーションにおける介入手法の標準コードの開発研究	百崎良	医学部附属病院	400,000	補 委 補	厚生労働省
生活期リハビリテーションにおける介入手法の標準コードの開発研究	清水美帆	医学部附属病院	200,000	補 委 補	厚生労働省
小児・AYA世代がん患者に対するがん・生殖医療における心理社会的支援体制の構築と安全な長期検体保管体制の構築を目指した研究ーサバイバースhip向上を志向して	西岡美喜子	医学部附属病院	78,000	補 委 補	厚生労働省
重点感染症に対する感染症対応医療品等(MCM)利用可能性確保の方針検討に資する研究	田辺正樹	医学部附属病院	44,760,000	補 委 補	厚生労働省
ウェアラブルVRカメラを利用した災害時初期対応の疑似体験型教育方法の構築	田坂健	医学部附属病院	460,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
がんによる全身的な宿主免疫抑制の理解に基づくがん免疫療法の発展	河口浩介	医学部附属病院	710,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
M2Mφ デザイナー-Exosomeを用いた心停止後症候群の新規治療と予後予測モデルの開発	川本英嗣	医学部附属病院	3,800,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
患者のフィジビリティを高める遠隔看護システム併用型「膝がんリハビリプログラム」の開発	岸和田昌之	医学部附属病院	100,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
乳がん患者の腸内細菌叢と免疫プロファイルの相互作用に基づく治療戦略の開発	河口浩介	医学部附属病院	1,100,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
患者視点を取り入れた総合診療専攻医のビデオレビュー教育プログラムの構築	山本憲彦	医学部附属病院	50,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
フォトンカウンティングCTによる心筋脂肪分画の定量評価と不整脈リスク診断への応用	高藤雅史	医学部附属病院	2,289,740	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
深層学習を活用した3次元CT-like血管壁MRI画像による頸動脈プラーク解析法の開発	海野真記	医学部附属病院	1,800,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
肺がんの組織血流と線維化の統合的定量解析アルゴリズムの開発と臨床的有用性の検証	長谷川大輔	医学部附属病院	1,800,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
周産期侵襲による実験的肺高血圧の薬物療法の開発と病態解明: DOHaD仮説の応用	三谷義英	医学部附属病院	1,300,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
Radio-Transcriptomicsによる肝癌の分子生物学的イメージング・バイオマーカーの構築	藤原直人	医学部附属病院	1,200,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
腸管粘膜の障害に焦点をあてた炎症性腸疾患の新規病態メカニズムの解明	中村美咲	医学部附属病院	1,000,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
細菌叢由来ペプチドのNASH肝線維化における意義解明と臨床応用への展開	安間太郎	医学部附属病院	1,400,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
肺循環障害の病態・重症度評価におけるX線透視動画解析法の応用	荻原義人	医学部附属病院	2,700,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
口腔マイクロバイオームに着目した肺MALTリンパ腫発症機序の解明	宮崎香奈	医学部附属病院	1,900,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
神経芽腫の再発、転移に対するribitolの効果	米川貴博	医学部附属病院	1,400,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
トリプルネガティブ乳癌におけるがん幹細胞を標的とする新規CAR-T療法の開発	齋藤佳菜子	医学部附属病院	1,200,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
レディオミクススペース膵癌遠隔転移ハザードマップ開発と時系列解析	藤井武宏	医学部附属病院	1,000,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
AIを用いた血行動態指標の予測に関する研究	別所早紀	医学部附属病院	2,900,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
前立腺癌間質の人種間差異から紐解くホルモン治療感受性規定因子の探索	佐々木豪	医学部附属病院	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
子宮内胎児発育不全が成人期肺循環と右心機能に及ぼす影響	淀谷典子	医学部附属病院	1,200,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
Phosphodiesterase 1を標的とした口腔悪性黒色腫新規治療法の開発	清水香澄	医学部附属病院	1,100,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
医療事故調査における個人のテクニカルスキルの関与の再検証に係る研究	兼児敏浩	医学部附属病院	1,100,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
Deep Learningを活用した超音波ガイドによる安全な静脈穿刺法の開発	大橋啓之	医学部附属病院	3,000,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
オンラインコミュニティの創出は開業保健師活動の広がりにつながるか	井倉一政	医学部附属病院	700,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
「脳筋連関」を介した一次性サルコペニア改善の新規機序解明	江口暁子	医学部附属病院	200,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
Photon counting CTによるエンドリークの詳細評価および臨床的有用性の検証	東川貴俊	医学部附属病院	2,200,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
進行性肺線維症におけるCT定量評価の有用性:肺陰影/構造変化とFractal性の解析	久保岡牧子	医学部附属病院	2,200,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
グリンパティックシステムの機能評価による脳アミロイド血管症の認知機能障害予測	田中史根	医学部附属病院	1,600,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
微生物叢相互作用に着目した急性肺障害発症機序の解明	齋木晴子	医学部附属病院	1,400,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
トロンボモジュリンによる膝β細胞保護作用の分子機構の解明	竹下敦郎	医学部附属病院	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
ラディオゲノミクスを用いた術後肝障害、肝不全の予測	伊藤貴洋	医学部附属病院	700,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
くも膜下出血におけるUDPグルコースーP2Y14受容体信号経路と脳損傷との関連	金丸英樹	医学部附属病院	1,200,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
色素上皮由来因子を利用したくも膜下出血後早期脳損傷の新規診断法の開発	中塚慶徳	医学部附属病院	900,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
非侵襲的着床前胚異数性検査の臨床応用を阻む因子の探索	西岡美喜子	医学部附属病院	1,100,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
イモリの免疫応答に着目した線維化・癌化を防ぎきる機能の解明	細見謙登	医学部附属病院	1,800,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
地域の遺伝性乳癌卵巣癌症候群の診療体制構築を目指して	木本真緒	医学部附属病院	1,500,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
マーカーレス歩行解析による新たな膝関節への機械的負荷指標の開発	久保峰鳴	医学部附属病院	196,111	補 委	独立行政法人日本学術振興会
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入終了後の追跡研究 J-DOIT3(追跡)	矢野裕	医学部附属病院	200,000	補 委	公益財団法人日本糖尿病財団
関節リウマチを対象とした日常診療下におけるサリルマブの前向き観察研究 (PROFILE-J:PROspective sarilumab (preFILLed syringe/pen) obsErvational study - Japan)	中島亜矢子	医学部附属病院	33,846	補 委	産業医科大学・IQVIAサービシーズジャパン株式会社
関節リウマチを対象とした日常診療下におけるサリルマブの前向き観察研究 (PROFILE-J:PROspective sarilumab (preFILLed syringe/pen) obsErvational study - Japan)	若林弘樹	医学部附属病院	211,540	補 委	産業医科大学・IQVIAサービシーズジャパン株式会社
担がん患者に合併した静脈血栓塞栓症における非ビタミンK阻害経口抗凝固薬リバーロキサパン治療の前向き臨床研究 (PRIMECAST)	荻原義人	医学部附属病院	211,525	補 委	学校法人国際医療福祉大学
ST上昇型急性心筋梗塞に対するエキシマレーザー冠動脈形成術が心筋サルベージに与える影響 英語名:【LAST-PASS】Laser Atherectomy for STemi, Pci Analysis with Scintigraphy Study and cardiac mri	栗田泰郎	医学部附属病院	126,925	補 委	学校法人東海大学
高齢者非扁平上皮非小細胞肺癌に対するカルボプラチン・ペメトレキセド・アテゾリズマブ併用後ペメトレキセド・アテゾリズマブ維持療法の第2相試験: CJLSG1902	小林哲	医学部附属病院	169,231	補 委	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
先天性心疾患を伴う肺高血圧症例の多施設症例登録研究	三谷義英	医学部附属病院	176,916	補 委	国立大学法人東京医科歯科大学
日本における免疫性血栓性血小板減少性紫斑病 (iTTP) の前向きレジストリ研究ーJapan iTTP Registry Study (JiTS)ー	松本剛史	医学部附属病院	42,308	補 委	公立大学法人奈良県立医科大学
固形がん患者及び血縁者における生殖細胞系列遺伝子変異同定の有用性を評価する観察研究 (BRANCH study)	奥川喜永	医学部附属病院	230,772	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
左室駆出率の保たれた心不全患者におけるβ遮断薬休薬の効果を検討する試験	杉浦英美喜	医学部附属病院	60,000	補 委	国立大学法人群馬大学
高TG血症合併MAFLDに対するペマフィブラート、フェノフィブラートの無作為化比較試験ー他施設共同、オープン試験ー	岩佐元雄	医学部附属病院	12,693	補 委	公立大学法人横浜市立大学
固形がん患者及び血縁者における生殖細胞系列遺伝子変異同定の有用性を評価する観察研究 (BRANCH study)	奥川喜永	医学部附属病院	76,923	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
子宮内膜マイクロバイオーム改善のための治療法の確立	高山恵理奈	医学部附属病院	84,615	補 委	国立大学法人琉球大学
メタボリック関連脂肪性肝疾患の診断薬の開発	岩佐元雄	医学部附属病院	2,780,000	補 委	国立大学法人京都大学
サルコペニア・フレイルの予防に関するヘルスケアサービスのためのガイドライン開発研	百崎良	医学部附属病院	1,000,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
慢性肝疾患の合併症である肝性脳症を診断する血液学的バイオマーカーの開発	江口暁子	医学部附属病院	869,311	補 ⑤委 補	国立大学法人東海国立大学機構
小児急性骨髄性白血病の標準的治療法の確立のための臨床研究	丹羽香央里	医学部附属病院	2,000,000	補 ⑤委 補	国立研究開発法人国立成育医療研究センター
母子感染のリスク評価と先天性感染の新たな診断・予防法の開発研究	池田智明	医学部附属病院	800,000	補 ⑤委 補	学校法人日本大学
抗インターロイキン-6受容体抗体のドラッグリポジショニングで心筋炎症を抑制する、周産期心筋症の新規治療法の開発と治験の準備	池田智明	医学部附属病院	363,490	補 ⑤委 補	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
地域・疾患領域・臨床研究者・支援専門職ネットワークを活用した、QMSの概念に関する研究者及び研究支援者への教育研修に係る研究	田丸智巳	医学部附属病院	900,000	補 ⑤委 補	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
HIV感染者等保健福祉相談事業	大石晃嗣	医学部附属病院	675,000	補 ⑤委 補	公益財団法人エイズ予防財団
ネフローゼ型膜性腎症に対するリツキシマブの検証的医師主導治験の実施	片山鑑	医学部附属病院	1,300,000	補 ⑤委 補	国立大学法人東海国立大学機構
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	矢野裕	医学部附属病院	300,000	補 ⑤委 補	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
難治性乳がん、及び卵巣がんに対する新規CDK12阻害剤の非臨床試験	河口浩介	医学部附属病院	1,000,000	補 ⑤委 補	Chordia Therapeutics株式会社, 国立大学法人京都大学, 国立大学法人東京大学
認知症疾患医療センター運営事業	脳神経内科	医学部附属病院	10,516,676	補 ⑤委 補	三重県
三重県地域医療支援センターキャリア形成支援事業	岡本隆二	医学部附属病院	43,000,000	補 ⑤委 補	三重県
三重県がん登録情報活用事業	がんセンター	医学部附属病院	21,901,000	補 ⑤委 補	三重県
肝疾患診療地域連携体制強化事業	池田智明	医学部附属病院	12,350,800	補 ⑤委 補	三重県
肝炎情報センター戦略的強化事業	池田智明	医学部附属病院	2,500,000	補 ⑤委 補	三重県
がん医療水準均てん化の推進に向けた看護職員資質向上対策事業	がんセンター	医学部附属病院	1,903,000	補 ⑤委 補	三重県
三重県周産期医療ネットワークシステム運営研究事業(妊産婦)委託	近藤英司	医学部附属病院	3,651,120	補 ⑤委 補	三重県
難病医療ネットワーク整備事業	池田智明	医学部附属病院	7,705,998	補 ⑤委 補	三重県
認知症対応力向上研修事業	脳神経内科	医学部附属病院	910,000	補 ⑤委 補	三重県
エイズ治療拠点病院等に対する研修・啓発及び医療情報提供等業務委託	大石晃嗣	医学部附属病院	713,000	補 ⑤委 補	三重県
感染対策ネットワーク事業	池田智明	医学部附属病院	2,081,900	補 ⑤委 補	三重県
病院勤務薬剤師人材育成プログラム作成等業務	加藤秀雄	医学部附属病院	1,980,000	補 ⑤委 補	三重県
三重県医療的ケア児・者相談支援センター本部事業業務	澤田博文	医学部附属病院	7,698,250	補 ⑤委 補	三重県
三重県認知症サポート医フォローアップ研修事業	平田佳寛	医学部附属病院	338,462	補 ⑤委 補	三重県
地域緩和ケアコーディネーター養成事業	松原貴子	医学部附属病院	777,700	補 ⑤委 補	三重県
アドバンス・ケア・プランニング(ACP)推進事業	がんセンター	医学部附属病院	2,189,000	補 ⑤委 補	三重県
看護管理者の院内・地域内継続学習の推進事業	池田智明	医学部附属病院	910,800	補 ⑤委 補	三重県
がん診療連携拠点病院機能強化事業	がんセンター	医学部附属病院	42,845,000	補 ⑤委 補	厚生労働省
小児がん拠点病院機能強化事業	がんセンター	医学部附属病院	24,521,000	補 ⑤委 補	厚生労働省
三重県新人看護職員研修事業	池田智明	医学部附属病院	1,893,000	補 ⑤委 補	三重県
認知症ケアの医療介護連携体制構築事業	新堂晃大	医学部附属病院	6,480,000	補 ⑤委 補	三重県
小児在宅医療・福祉連携事業	澤田博文	医学部附属病院	16,310,000	補 ⑤委 補	三重県
総合診療医広域育成拠点整備事業	池田智明	医学部附属病院	1,525,000	補 ⑤委 補	三重県
がんゲノム診療連携拠点病院事業	池田智明	医学部附属病院	19,521,000	補 ⑤委 補	厚生労働省
麻酔科専門医等育成事業	池田智明	医学部附属病院	5,450,000	補 ⑤委 補	三重県
津市こども救急教育事業	池田智明	医学部附属病院	250,000	補 ⑤委 補	津市
救急救命士病院実習受入促進事業	池田智明	医学部附属病院	300,000	補 ⑤委 補	三重県
救急患者退院コーディネーター事業	池田智明	医学部附属病院	1,316,000	補 ⑤委 補	三重県

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
看護師の特定行為に対する研修事業	池田智明	医学部附属病院	1,949,000	補 委 補	三重県
がん遠隔手術支援等環境整備事業	池田智明	医学部附属病院	2,970,000	補 委 補	三重県
看護補助者処遇改善事業	池田智明	医学部附属病院	701,000	補 委 補	三重県
電子処方箋活用事業	池田智明	医学部附属病院	811,000	補 委 補	三重県
三重県看護職員キャリアアップ支援事業	池田智明	医学部附属病院	466,000	補 委 補	三重県
総合診療専門医養成プログラムにおけるビデオレビューを用いた教育システムの構築	若林英樹	医学系研究科	26,194	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
味細胞情報伝達機構の可逆的障害による味覚障害発症メカニズムの解明	西田幸平	医学部附属病院	67,201	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
就労と治療の両立に関する労働者用リテラシー教育方略の開発と教育効果の測定	市川周平	医学系研究科	3,209,266	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
早期肺腺癌のCT画像におけるAI(人工知能)補助診断の有用性検証	高尾仁二	医学系研究科	463,432	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
テネイシンC・シンデカン4・フィブロネクチンの軟骨に対する作用とシグナル伝達機構	長谷川正裕	医学系研究科	300,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
心臓MRIテクスチャ解析によるがん治療関連心筋傷害早期診断バイオマーカーの開発	中森史朗	医学系研究科	3,798,369	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
慢性脳低灌流状態でのアディポカインバランスの変化の解明	脇田英明	医学系研究科	1,238,481	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
皮膚における警報因子活性化システムの探索	山西清文	医学系研究科	698,869	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
microRNAを活用した治療抵抗性膵癌患者に対する個別化医療	水野修吾	医学系研究科	1,400,167	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
ウェアラブル端末を用いた労働者運動器検診、ロコモ予防	西村明展	医学系研究科	1,152,116	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
外傷性嗅覚障害に対する低侵襲クルクミン経口療法確立のための基礎研究	小林正佳	医学系研究科	2,779,734	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
一般市民の人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)を支援する取り組みとその評価	松原貴子	医学部附属病院	120,460	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
高齢者施設における写メを利用した食事調査ならびに健康管理システムの構築	西村明展	医学系研究科	100,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
慢性脳虚血が脳アミロイド血管症に及ぼす無菌性炎症とアミロイド排出障害の解明	石川英洋	医学系研究科	1,002,217	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
椎間板ヘルニアに対するコンドリアーゼ治療への多血小板血漿の応用	山田淳一	医学系研究科	555,288	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
光合成細菌由来コア光捕集複合体の光エネルギー変換最適化の構造基盤解明	溝口明	医学系研究科	200,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
代謝改変によるCAR-T細胞療法の有効性向上の試み	三輪 啓志	医学系研究科	1,234,237	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
疲弊抵抗性CAR-Tと幹細胞様メモリーCAR-Tによるがん治療	王立楠	医学系研究科	720,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
ヒアルロン酸誘導体ががんワクチンのメモリーT細胞誘導作用とがん再発抑制機序の解明	百瀬文康	医学系研究科	900,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
血小板を加えた凝固波形解析ー血凝固異常における血小板の役割の解明ー	和田英夫	医学系研究科	300,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
病変形成機序に基づく肺高血圧の新規治療標的の開発	澤田博文	医学部附属病院	1,033,580	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
慢性皮膚炎症と精子形成不全・動脈硬化症・認知症等内臓病変とのクロストーク	山中恵一	医学系研究科	1,981,106	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
新生児腸管切除後のDysbiosisと腸管神経叢・腸上皮形成との関連性と治療戦略	内田恵一	医学系研究科	2,595,760	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
AIとradiomicsによる直腸癌術前治療の効果予測プログラム開発	川村幹雄	医学部附属病院	1,189,620	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
腎移植後BKポリオーマウイルス感染症発症の新たなリスクファクターの探索	西川晃平	医学系研究科	1,300,000	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
胎児発育不全治療薬のタダラフィルが胎児新生児循環に与える影響の解析	池田智明	医学系研究科	1,490,973	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
線毛機能不全症候群の診断精度向上に資する研究	竹内万彦	医学系研究科	977,184	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
外傷性嗅覚障害に対する高用量IgG療法確立のための基礎研究	石神瑛亮	医学部附属病院	948,006	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
低侵襲、低ノイズ、短時間化が可能な次世代小型ERG装置の開発と自動診断の試み	近藤峰生	医学系研究科	915,653	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
眼科領域のオンライン診療推進に関連する課題克服をめざして	生杉謙吾	医学系研究科	403,064	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
黄斑浮腫の形成と進行における血液凝固系因子が果たす機序の解明	近藤峰生	医学系研究科	152,505	補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
顔面神経のtopographyを再建する新しい手術術式の開発	成島三長	医学系研究科	100,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
直腸がん患者の低位前方切除後症候群の回復への多職種協働支援プログラム構築	問山裕二	医学系研究科	80,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
頭部外傷動物実験モデルを用いたオステオポンチンの神経保護作用の解明	浅田玲緒尚	医学系研究科	782,571	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
遠隔での嚥下機能評価手法の確立と嚥下機能訓練の実行可能性の検討	松田佳奈	医学系研究科	1,998,081	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
おいしさの認知科学の創出 一味嗅覚と多感覚の統合の解明と伝送技術開発ー	小林正佳	医学系研究科	500,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
hybrid-TCR法によるがん治療法の検討	赤堀泰	医学系研究科	2,060,471	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
疲弊抵抗性CAR-Tと腫瘍微小環境制御による固形がんに対するT細胞輸注療法	王立楠	医学系研究科	200,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
核内輸送受容体タンパク質の新規遺伝子制御機能を標的にしたNASH肝癌治療法の開発	江口暁子	医学部附属病院	1,975,442	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
ミトコンドリア機能と心筋内中性脂肪に着目した新たな薬剤性心筋障害の早期診断法	中森史朗	医学系研究科	3,300,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
NK/T細胞リンパ腫の国際間病態比較と治療の最適化	山口素子	医学系研究科	1,467,492	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
癌合併クローン病の早期診断を可能とする体液を用いたバイオマーカーの開発	大北喜基	医学系研究科	2,315,596	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
くも膜下出血予防のレジストリーコホートと転帰改善のランダム化比較試験研究	富本秀和	医学系研究科	43,760	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
幾何学的因子と血流の時間的空間的複雑性の定量による頸動脈狭窄症進行機序の解明	鈴木秀謙	医学系研究科	1,990,200	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
コロナ禍が高齢者の運動器疾患・ロコモ・要介護に与えた影響	須藤啓広	医学系研究科	1,900,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
ヒトiPS細胞からミュー管様上皮細胞を経由した子宮内膜間質細胞への分化機序の解明	武内大輝	医学系研究科	1,201,207	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
日本版ポジティブヘルス:新しい健康概念の構築と有用性の検証	若林英樹	医学系研究科	150,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
ゲノム情報と血中バイオマーカー統合による消化器・肺がんリスクモデルの構築	問山裕二	医学系研究科	100,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
予防・健康行動を支援するための慢性疲労バイオマーカーの数値化研究	江口暁子	医学部附属病院	1,000,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
人工神経におけるSchwann細胞スフェロイド技術の応用	片岡武史	医学系研究科	3,010,080	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
次世代型個別化TCR-T療法の確立に向けた基盤研究	宮原慶裕	医学系研究科	4,300,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
iPS細胞を用いた難治性気管支拡張症の新規診断法の確立と治療法の開発	竹内万彦	医学系研究科	1,500,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
がんに対する同種 CAR γ δ -T細胞療法実用化を阻害するボトルネックに挑む	藤原弘	医学系研究科	5,600,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
動物モデルを駆使した認知症治療薬に見られる副作用の背景解明と予知マーカー開発	新堂晃大	医学系研究科	500,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
認知症患者修飾薬に伴うアミロイド関連画像異常の克服に向けた研究	新堂晃大	医学系研究科	1,800,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
INOCAの非侵襲的定量MRI診断法の開発と診断・予後予測における有用性の検証	佐久間肇	医学系研究科	8,100,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
自己免疫性肝炎とICI関連肝障害の分子学的差異に基づく病態解明とバイオマーカー開発	中川勇人	医学系研究科	3,000,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
ゼブラフィッシュ膀胱癌異種移植Avatarモデルによる個別薬効評価の実装化基盤研究	井上貴博	医学系研究科	6,850,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
キメラ抗原受容体T細胞療法における標的抗原以外に対する免疫応答の意義	藤原弘	医学系研究科	200,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
患者視点を取り入れた総合診療専攻医のビデオレビュー教育プログラムの構築	若林英樹	医学系研究科	50,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
クロザピンの有効性と有害反応の新たな病態生理標的シグナルの探索研究	岡田元宏	医学系研究科	1,400,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
拡張型心筋症の心筋組織性状および左室内腔形態のフラクタル解析に関する研究	石田正樹	医学系研究科	1,200,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
COVID-19における肺傷害促進因子Corisinの検討	藤本源	医学系研究科	1,400,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
網羅的解析による大腸癌特異的循環メチル化DNAを標的とした多用途パネルの開発と検証	問山裕二	医学系研究科	1,800,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
骨内リンパ組織と後根神経節を含むリンパ組織のイモリ四肢組織再生への役割の解明	成島三長	医学系研究科	1,400,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
がん遺伝子パネル検査を受検する患者・家族の心理的特性の解明と支援プログラムの開発	中谷中	医学部附属病院	1,300,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
ドライビングシミュレータとMRIによる軽度認知障害者の自動車運転危険予測指標の開発	脇田英明	医学系研究科	2,100,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
脳梗塞後の機能回復に関わる脳内分子機構を基盤とした訓練・薬剤併用療法の開発	脇田英明	医学系研究科	200,000	⑨ 補 委 補	独立行政法人日本学術振興会
脳神経外科疾患に対する人工知能技術を用いた術後経過予測モデルの開発	谷岡悟	医学系研究科	2,400,000	⑨ 補 委	独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
地域において安心して妊娠・子育てが可能となる安全な周産期医療体制の構築のための政策研究	池田智明	医学系研究科	400,000	補 委	厚生労働省
認知症の遠隔医療およびケア提供を促進するための研究	新堂晃大	医学系研究科	1,500,000	補 委	厚生労働省
乳幼児期に重度視覚障害をきたす難病の遺伝学的診断と長期的診療体制の構築	近藤峰生	医学系研究科	600,000	補 委	厚生労働省
小児がん拠点病院・連携病院のQI(Quality Indicators)を評価指標としてがん対策推進基本	平山雅浩	医学系研究科	200,000	補 委	厚生労働省
自己免疫性出血症診療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成	和田英夫	医学系研究科	500,000	補 委	厚生労働省
成人発症白質脳症の実態調査とレジストリ作成の研究	新堂晃大	医学系研究科	1,000,000	補 委	厚生労働省
特発性大腿骨頭壊死症の確定診断と重症度判定の向上に資する大規模多施設研究	長谷川正裕	医学系研究科	100,000	補 委	厚生労働省
小児・AYA世代がん患者に対するがん・生殖医療における心理社会的支援体制の構築と安全な長期検体保管体制の構築を目指した研究－サバイバーシップ向上を志向して	平山雅浩	医学系研究科	200,000	補 委	厚生労働省
小児・AYA世代がん患者に対するがん・生殖医療における心理社会的支援体制の構築と安全な長期検体保管体制の構築を目指した研究－サバイバーシップ向上を志向して	前沢忠志	医学系研究科	500,000	補 委	厚生労働省
痛みセンターを中心とした慢性疼痛診療システムの均てん化と診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	賀来隆治	医学系研究科	200,000	補 委	厚生労働省
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	近藤峰生	医学系研究科	14,500,000	補 委	厚生労働省
第8次医療計画を見据えた持続可能な地域小児医療体制の構築のための政策研究	平山雅浩	医学系研究科	2,050,000	補 委	厚生労働省
アルツハイマー病の新しい抗Aβ抗体薬およびBPSD 治療薬対応のための診療指針策定のための調査研究	富本秀和	医学系研究科	3,031,000	補 委	厚生労働省
ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業	平山雅浩	医学系研究科	13,405,330	補 委	国立大学法人高知大学
三重大学総合診療医養成事業	平山雅浩	医学系研究科	36,267,000	補 委	官署支出官厚生労働省大臣官房会計課長
高度化・多様化するがん医療を担う人材育成	平山雅浩	医学系研究科	14,202,000	補 委	国立大学法人京都大学
計画策定又は見直しに向けた統計解析(マルチレベルデータ解析)	岡田元宏	医学系研究科	1,000,000	補 委	三重県
レディーメード型超高純度γδT細胞の大量製造技術の開発	藤原弘	医学系研究科	3,786,169	補 委	公益財団法人三重県産業支援センター
令和6年度生活習慣病予防重点プロジェクト事業	土肥薫	医学系研究科	3,846,154	補 委	名張市
「循環器疾患診療実態調査(JROAD)のデータベースによる心臓サルコイドーシスの診療実態調査と二次調査に基づく診断・治療プロトコルの策定に関する研究」(MYSTICS)	土肥薫	医学系研究科	73,856	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
心臓サルコイドーシスの診療実態に関する多施設前向き登録研究(MYSTICS-PRO)	土肥薫	医学系研究科	7,692	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
細菌叢由来ペプチドに着目した糖尿病における心腎関連メカニズムの解明	安間太郎	医学部附属病院	6,506,424	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
小児・AYA世代の難治性固形がんに対する遺伝子改変T細胞輸注療法の探索	藤原弘	医学系研究科	13,636,364	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
“AFP revisited”-AFP陽性肝細胞の発現シグネチャーを標的とした新規肝再生・発癌抑止療法の開発-	中川勇人	医学系研究科	11,200,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
“次世代型プレジジョンメディシン”を目指したNAFLDの病態解明と臨床応用	中川勇人	医学系研究科	19,200,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
医薬品等の安全性評価に用いる動物試験代替法の開発、評価及び標準化に関する研究	田中利男	医学系研究科	950,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
病的バリエントを有する遺伝性認知症を対象としたコホート構築による病態解明、バイオマーカー開発、治験促進	新堂晃大	医学系研究科	1,500,000	補 委	国立大学法人信州大学
分子基盤に基づく難治性リンパ系腫瘍の診断及び治療法の開発と標準治療確立のための多施設共同研究	山口素子	医学系研究科	1,000,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
アルツハイマー病の脳内炎症で変動するタンパク質の解析	脇田英明	医学系研究科	500,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
マイナポータルと連携した心不全の予防を目的とするPHRアプリを基盤とした健康増進支援サービスの構築	土肥薫	医学系研究科	28,240,628	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
小児およびAYA世代の再発急性リンパ性白血病に対するイノツズマブ・オゾガマイシンとhyper-mini-CVDの併用療法の有効性・安全性を検討する第II相試験と疾患レジストリ構築	豊田秀実	医学系研究科	18,510,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
“次世代型プレジジョンメディシン”を目指したNAFLDの病態解明と臨床応用	中川勇人	医学系研究科	64,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
アルツハイマー病疾患修飾薬全国臨床レジストリの構築と解析	新堂晃大	医学系研究科	1,000,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
小児・AYA世代のGD2陽性難治性固形がんに対する機能強化型CAR-T第I相医師主導治験	藤原弘	医学系研究科	60,780,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
中枢神経系再発高リスクの未治療びまん性大細胞型B細胞リンパ腫に対する中枢神経系再発予防を組み入れた治療法のランダム化第III相試験	山口素子	医学系研究科	17,250,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
肥大型心筋症患者における診療の実態調査および突然死／拡張相への移行に関する新規予測プログラムの開発とその検証のための多施設後向き登録研究(REVEAL-HCM)	土肥薫	医学系研究科	515,000	補 委	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
PARP阻害薬投与既往を有するプラチナ感受性再発上皮性卵巣癌に対するオラパリブ(リムパーザ®)維持療法の前向き観察研究	近藤英司	医学系研究科	38,462	補 委	岡山大学病院

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
代謝関連脂肪性肝疾患および肝がんの病態解明に関する研究	中川 勇人	医学系研究科	2,000,000	補 ○ 委	国立大学法人東京大学
がん特異的CasMab抗体を用いた難治性固形がんに対するCAR-T細胞療法に関する研究開発	宮原慶裕	医学系研究科	2,200,000	補 ○ 委	国立大学法人長崎大学
エンフォルトマブベドチンによる皮膚障害の発症様式に関する多機関共同観察研究	井上 貴博	医学系研究科	92,310	補 ○ 委	京都大学医学部附属病院
特定非営利活動法人 日本脳神経血管内治療学会データベースを用いた観察研究(Pipeline)	當麻直樹	医学系研究科	53,844	補 ○ 委	特定非営利活動法人日本脳神経血管内治療学会
特定非営利活動法人 日本脳神経血管内治療学会データベースを用いた観察研究(パルスライダー)	當麻直樹	医学系研究科	23,076	補 ○ 委	特定非営利活動法人日本脳神経血管内治療学会
国際重症喘息登録International Severe Asthma Registry (ISAR)	小林 哲	医学系研究科	172,324	補 ○ 委	一般社団法人近畿・北陸気道疾患研究会
Registry of contemporary medical management of chronic heart failure with non-reduced ejection fraction in Japan -The PARACLETE study -	土肥 薫	医学系研究科	857,261	補 ○ 委	公立大学法人奈良県立医科大学
新生児マスキースクリーニング対象疾患拡大に関する観察研究	平山雅浩	医学系研究科	849,240	補 ○ 委	一般社団法人東海マスキースクリーニング推進協会
わが国の小児がんサバイバーの健康・社会生活状況の実態解明に関する大規模調査研究	平山雅浩	医学系研究科	280,955	補 ○ 委	特定非営利活動法人日本小児がん研究グループ
非小細胞肺癌手術例における全ゲノム解析を用いたバイオマーカー研究(WJOG16622L)	高尾 仁二	医学系研究科	338,462	補 ○ 委	特定非営利活動法人西日本がん研究機構
未治療日本人転移性腎細胞癌患者を対象としたカボザンチニブ・ニボルマブ併用療法の有効性と安全性に関する前向き観察研究(JACUMET試験)	井上 貴博	医学系研究科	59,231	補 ○ 委	一般社団法人九州臨床研究支援センター
成人T細胞性白血病/リンパ腫に対するTax特異的T細胞受容体遺伝子導入免疫細胞療法の医師主導治験	藤原 弘	医学系研究科	500,000	補 ○ 委	学校法人自治医科大学
ロメリジン塩酸塩によるCADASIL患者に対する脳虚血イベント再発抑制	新堂 晃大	医学系研究科	500,000	補 ○ 委	京都府公立大学法人
シンバイオティクスによる肝切除術後の感染性合併症発生率低減効果を検討する第Ⅱ相試験(SYNERGI Study)	水野修吾	医学系研究科	16,924	補 ○ 委	公立大学法人横浜市立大学
ヒアルロン酸ナノゲルによるポリペプチドの可溶化・生体内輸送機能解析とワクチンへの応用	宮原慶裕	医学系研究科	3,750,000	補 ○ 委	旭化成株式会社
令和6年度三重県予防のための子どもの死亡検証体制整備モデル事業業務委託	平山雅浩	医学系研究科	8,101,430	補 ○ 委	三重県
令和6年度産婦人科・小児科専門医確保対策事業委託	平山雅浩	医学系研究科	368,561	補 ○ 委	三重県

計

308件

948,633,401円

(注)

- 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Magawa S, Maki S, Tamaishi Y, et al	産科婦人科	Modes of delivery and indications in women with COVID-19: a regional observational study in Japan.	J Obstet Gynaecol. 2024 Dec;44(1):2362968.	Original Article
2	Matsushima Y, Hwang ST, Simon SI	皮膚科	The Skinny on Dermal Fat and Its Anti-Inflammatory Role in Psoriasis.	J Invest Dermatol. 2025 Feb;145(2):223-224.	Original Article
3	Matsuura Y, Mizutani K, Ichikawa A, et al	皮膚科	A case of lupus erythematosus-like eruption under pembrolizumab administration.	J Dermatol. 2025 Apr;52(4):e288-e289.	Letter
4	Ito Y, Ichikawa Y, Murashima S, et al	リウマチ・膠原病内科	Rheumatoid arthritis disease activity significantly impacts on the severity of interstitial lung disease.	Arthritis Res Ther. 2024 May 4;26(1):95. (オンライン)	Original Article
5	Ito Y, Ichikawa Y, Murashima S, et al	リウマチ・膠原病内科	Novel deep-learning analysis for connective tissue disease -related interstitial lung disease extent assessment on CT: a preliminary cross-sectional study.	Rheumatology (Oxford). 2024 Sep 13;keae491.	Original Article
6	Banjoya H, Shimizu A, Hori S, et al	リハビリテーション科	Role of Functional Dentition in Sarcopenia: Towards Generalisable Findings and Broader Health Implications.	J Oral Rehabil. 2025 May;52(5):585-586.	Original Article
7	Ishida M	放射線部	Editorial for "Impact of Functional Mitral Regurgitation on Left Ventricular Strain in Nonischemic Dilated Cardiomyopathy Patients with Type 2 Mellitus Diabetes: A Magnetic Resonance Feature Tracking Study".	J Magn Reson Imaging. 2025 Feb;61(2):926-927.	Original Article
8	Kokawa T, Kitagawa K, Nakamura S, et al	放射線部	Myocardial late enhancement using dual-source CT: intraindividual comparison of single-energy shuttle and dual-energy acquisition.	Insights Imaging. 2025 Mar 22;16(1):64. (オンライン)	Original Article
9	Kato H, Kato N, Ouchi T, et al	放射線部	Evaluation of Thoracic Endovascular Repair for the Treatment of Type B Aortic Dissection Complicated by Malperfusion.	Ann Vasc Dis. 2024 Sep 25;17(3):248-254.	Original Article
10	Ouchi T, Kato N, Kato H, et al	放射線部	Scoring system to predict mid-term adverse events after elective thoracic endovascular aortic repair.	J Thorac Cardiovasc Surg. 2024 Aug 26:S0022-5223(24)00768-2.	Original Article
11	Higashigawa T, Ichikawa Y, Nakajima K, et al	放射線部	Low energy virtual monochromatic CT with deep learning image reconstruction to improve delineation of endoleaks.	Clin Radiol. 2024 Oct;79(10):e1260-e1267.	Original Article
12	Ichikawa Y, Kanii Y, Yamazaki A, et al	放射線部	The Usefulness of Low-Kiloelectron Volt Virtual Monochromatic Contrast-Enhanced Computed Tomography with Deep Learning Image Reconstruction Technique in Improving the Delineation of Pancreatic Ductal Adenocarcinoma.	J Imaging Inform Med. 2025 Apr;38(2):1236-1244.	Original Article

13	Omori K, Takada A, Toyomasu Y, et al	放射線部	Expression of Tenascin-C Is Upregulated in the Early Stages of Radiation Pneumonitis/Fibrosis in a Novel Mouse Model.	Curr Issues Mol Biol. 2024 Sep 1;46(9):9674-9685. (オンライン)	Original Article
14	Hasegawa D, Nakamura S, Takafuji M, et al	放射線部	Test-retest reproducibility of absolute myocardial blood flow obtained using stress dynamic CT myocardial perfusion imaging.	Int J Cardiol Heart Vasc. 2024 Sep 16;55:101510. (オンライン)	Original Article
15	Kozaki Y, Ichikawa Y, Nakamura S, et al	放射線部	Utility of Quantitative Assessment of Tc-99m-diethylenetriamine-penta-acetic acid-galactosyl Human Serum Albumin SPECT/CT in the Identification of Severe Liver Fibrosis: Its Complementary Diagnostic Value with Other Liver Function Indices.	Mol Imaging Biol. 2024 Dec;26(6):1027-1035.	Original Article
16	Nagasawa N, Nakamura S, Ota H, et al	放射線部	Relationship between microvascular status and diagnostic performance of stress dynamic CT perfusion imaging.	Eur Radiol. 2025 May;35(5):2855-2865.	Original Article
17	Kato H, Kato N, Ouchi T, et al	放射線部	Outcomes of Endovascular Treatment for Infectious Thoracic Aortic Diseases.	J Vasc Interv Radiol. 2025 Jan;36(1):139-145.	Original Article
18	Araki S, Kitagawa K, Nakamura S, et al	放射線部	Integrating myocardial CT perfusion with coronary CT angiography improves risk stratification in patients with dialysis-dependent end-stage renal disease.	Jpn J Radiol. 2025 Mar;43(3):402-411.	Original Article
19	Nakamura E, Ichikawa Y, Domae K, et al	放射線部	A case of sclerosing angiomatoid nodular transformation with central calcification.	Radiol Case Rep. 2024 Dec 17;20(3):1380-1385. (オンライン)	Case Report
20	Araki S, Nakamura S, Takafuji M, et al	放射線部	Ultra-low-dose coronary computed tomography angiography using photon-counting detector computed tomography.	Eur Heart J Imaging Methods Pract. 2024 Nov 27;2(3):qyae125. (オンライン)	Original Article
21	Takada A, Nakamura S, Toyomasu Y, et al	放射線部	Cardiac CT reveals high prevalence of coronary artery disease in esophageal cancer eligible for radiotherapy.	Acta Oncol. 2025 Feb 3;64:200-207. (オンライン)	Original Article
22	Kinoshita G, Ito-Masui A, Kato T, et al	救命救急・総合集中治療センター	Veno-venous extracorporeal membrane oxygenation in managing acute respiratory distress syndrome associated with hemolytic uremic syndrome and septic shock: a case report.	J Artif Organs. 2025 Jun;28(2):270-274.	Case Report
23	Muramatsu S, Fujiwara M, Kazunari K, et al	病理部	Pulmonary Tumor Thrombotic Microangiopathy With Versican Expression in a Patient With Advanced Gastric Cancer: A Case Report of a Rare Autopsy.	Cureus. 2024 Jul 29;16(7):e65690. (オンライン)	Case Report
24	Matsui K, Imai H, Kobayashi T, et al	病理部	A lymph node lesion of hyper IL-6 syndrome mimicking plasmacytoma, IgG4-related disease, and Castleman disease.	J Clin Exp Hematop. 2024;64(4):307-312.	Case Report
25	Kitano T, BartoÅi F, Nabeshima Y, et al	臨床研修・キャリア支援部	Impact of cardiovascular magnetic resonance-derived right ventricular ejection fraction on adverse outcomes: A robust Bayesian model-averaged meta-analysis.	J Cardiovasc Magn Reson. 2024 Winter;26(2):101118.	Original Article
26	Okugawa Y, Ohi M, Kitajima T, et al	ゲノム医療部	Clinical feasibility of the preoperative C-reactive protein-albumin-lymphocyte index to predict short- and long-term outcomes of patients with gastric cancer.	J Gastrointest Surg. 2024 Jul;28(7):1045-1050.	Original Article
27	Okugawa Y, Shirai Y, Fukumori K, et al	ゲノム医療部	Effect of the Japanese herbal medicine Hochuekkito for systemic inflammation, prognostic nutrition index, and body composition status in patients with gastrointestinal cancer.	Clin Nutr ESPEN. 2024 Oct;63:757-767.	Original Article

28	Hashizume R, Imai H, Ohashi H, et al	ゲノム医療部	Case report: Severe arrhythmogenic cardiomyopathy in a young girl with compound heterozygous DSG2 and MYBPC3 variants with a 6-year follow-up.	Front Genet. 2025 Mar 6;16:1545561. (オンライン)	Case Report
29	Ogura T, Shiraishi C	臨床研究開発センター	Efficacy of Prednisone Avoidance in Patients With Liver Transplant Using the U.S. Food and Drug Administration Adverse Event Reporting System.	Cureus. 2024 May 13;16(5):e60193. (オンライン)	Original Article
30	Ogura T, Shiraishi C	臨床研究開発センター	Comparative Analysis of Adverse Event Profiles Among Seven Statins for Hypercholesterolemia Management Using the United States FDA Adverse Event Reporting System.	Cureus. 2025 Mar 26;17(3):e81260. (オンライン)	Original Article
31	Ogura T, Shiraishi C	臨床研究開発センター	Approach to Detecting Beneficial and Detrimental Drug-Drug Interactions in Complex Pharmacotherapy.	Cureus. 2025 Feb 8;17(2):e78746. (オンライン)	Original Article
32	Ogura T, Shiraishi C	臨床研究開発センター	Comparison of adverse events of poly adenosine diphosphate ribose polymerase inhibitors in patients with ovarian cancer using the United States Food and Drug Administration Adverse Event Reporting System.	Expert Opin Drug Saf. 2024 Oct 23:1-9.	Original Article
33	Ogura T, Shiraishi C, Tamura Y, et al	臨床研究開発センター	Comparison of Adverse Events Following Immunosuppressant Administration for Pediatric Patients With Renal Transplants Categorized by Two-Year Age Increments Using the U.S. Food and Drug Administration Adverse Event Reporting	Cureus. 2024 Jul 24;16(7):e65300. (オンライン)	Original Article
34	Yamasaki D, Ito S, Ochiai N, et al	感染制御部	Impact of long-term macrolide therapy on the evaluation indicator of outpatient oral antimicrobial use according to the AWaRe classification.	J Infect Chemother. 2025 Feb;31(2):102491.	Original Article
35	Kato H, Shiraishi C, Hagihara M, et al	薬剤部	Association between voriconazole-induced visual hallucination and dopamine in an analysis of the food and drug administration (FDA) adverse event reporting system database.	Sci Rep. 2024 May 31;14(1):12519. (オンライン)	Original Article
36	Shiraishi C, Kato H, Ino K, et al	薬剤部	Changes in the blood cyclosporine level after switching from voriconazole to isavuconazole in a patient with aplastic anemia: insights from physiologically based pharmacokinetic model simulation and the Adverse Event Reporting System database study.	Front Microbiol. 2025 Feb 24;16:1525991. (オンライン)	Original Article
37	Kato H, Hagihara M, Asai N, et al	薬剤部	A retrospective study comparing the effectiveness of carbapenems and tazobactam/piperacillin as an empirical treatment for patients infected with Bacteroides fragilis.	Anaerobe. 2025 Apr;92:102950.	Original Article
38	Kato H, Hirai J, Takano T, et al	薬剤部	A systematic review and meta-analysis on the efficacy of carbapenems versus metronidazole combination therapy in patients infected with Bacteroides spp.	J Infect Chemother. 2025 May;31(5):102687.	Original Article
39	Hirai T, Mori Y, Ogura T, et al	薬剤部	Influence of loop diuretics on denosumab-induced hypocalcaemia in osteoporosis: a retrospective observational analysis.	J Pharm Health Care Sci. 2024 Sep 27;10(1):60. (オンライン)	Original Article
40	Kato H, Hagihara M, Hiramatsu SI, et al	薬剤部	Evaluating the antimicrobial efficacy of ceftriaxone regimens: 1a2g twice daily versus 2a2g once daily in a murine model of Streptococcus pneumoniae pneumonia.	JAC Antimicrob Resist. 2024 Jun 4;6(3):dlae092. (オンライン)	Original Article
41	Kato H	薬剤部	Antibiotic therapy for bacterial pneumonia.	J Pharm Health Care Sci. 2024 Jul 30;10(1):45. (オンライン)	Original Article

42	Hirai T, Ueda S, Ogura T, et al	薬剤部	Hyperkalemic effect of drug-drug interaction between esaxerenone and trimethoprim in patients with hypertension: a pilot study.	J Pharm Health Care Sci. 2024 Aug 2;10(1):46. (オンライン)	Original Article
43	Shiraishi C, Kato H, Ogura T, et al	薬剤部	Association between age and onset of daptomycin-induced adverse events using the U.S. food and drug administration adverse event reporting system.	J Infect Chemother. 2025 Jan;31(1):102501.	Original Article
44	Shiraishi C, Kato H, Ogura T, et al	薬剤部	An investigation of broad-spectrum antibiotic-induced liver injury based on the FDA Adverse Event Reporting System and retrospective observational study.	Sci Rep. 2024 Aug 6;14(1):18221. (オンライン)	Original Article
45	Hirai T, Aoyama T, Tsuji Y, et al	薬剤部	Pharmacokinetic Model of Drug Interaction of Tacrolimus with Combined Administration of CYP3A4 Inhibitors Voriconazole and Clarithromycin After Bone Marrow Transplantation.	Eur J Drug Metab Pharmacokinet. 2024 Nov;49(6):763-771.	Original Article
46	Asai Y, Takai Y, Kato H, et al	薬剤部	A decision tree approach for investigating the background of research activity of community and hospital pharmacists in Mie Prefecture: a retrospective questionnaire-based survey.	J Pharm Health Care Sci. 2024 Oct 17;10(1):64. (オンライン)	Original Article
47	Asai Y, Kato H, Tawara I, et al	薬剤部	Potential of Albumin-Bilirubin Score for Estimating the Voriconazole-Induced Hepatotoxicity Undergoing Therapeutic Drug Monitoring: A Single-Center Retrospective Cohort Study.	Clin Ther. 2025 Apr;47(4):330-334.	Original Article
48	Nakayama N, Kono A, Moriwaki Y, et al	看護部	Improved Sympathetic Activity With Short-Term Effects of Yoga in Young Adults.	Holist Nurs Pract. 2024 Aug 29.	Original Article
49	Kako J, Kobayashi M, Matsuda Y, et al	看護部	Nonpharmacological Intervention for Delirium in Patients With Cancer: A Scoping Review.	J Pain Symptom Manage. 2024 Nov;68(5):e411-e415.	Letter
50	Nakano K, Kanno Y, Kajiwara K, et al	看護部	Nursing Support for Constipation in Palliative Care Units in Japan: A Multisite Cross-Sectional Study.	Palliat Med Rep. 2025 Jan 8;6(1):1-5. (オンライン)	Original Article
51	Oda K, Murata T, Tanaka F, et al	循環器内科	A case of acute kidney injury and Fanconi syndrome while taking multiple supplements, including Red Yeast Rice Cholesterol Help(AR).	CEN Case Rep. 2025 Feb;14(1):47-51.	Case Report
52	Sato T, Ogihara Y, Kitagawa K, et al	循環器内科	Diagnostic performance of fluoroscopic video analysis for pulmonary embolism: a prospective observational study.	Int J Cardiovasc Imaging. 2024 Jul;40(7):1445-1453.	Original Article
53	Nakamori S, Rowin EJ, Rodriguez J, et al	循環器内科	Accelerated myocardial fibrosis in young to middle-aged patients with hypertrophic cardiomyopathy.	J Cardiovasc Magn Reson. 2024 Winter;26(2):101072.	Original Article
54	Yamashita D, Fujimoto N, Kagawa Y, et al	循環器内科	QT Prolongation and Torsade De Pointes After Catheter Ablation for Persistent Atrial Fibrillation in a Patient With Tachycardia-Induced Cardiomyopathy: A Case Report.	Cureus. 2024 Jun 4;16(6):e61640. (オンライン)	Case Report
55	Nishikawa Y, Fujimoto N, Kurata T, et al	循環器内科	Effects of Irradiation During Computed Tomography Scanning on the Function of Implantable Cardioverter-defibrillators.	J Innov Card Rhythm Manag. 2024 Jul 15;15(7):5936-5944. (オンライン)	Original Article
56	Oda K, Katayama K, Zang L, et al	循環器内科	The Protective Role of KANK1 in Podocyte Injury.	Int J Mol Sci. 2024 May 27;25(11):5808. (オンライン)	Original Article

57	Nakamori S, Dohi K	循環器内科	Prevalence of Cardiac Involvement in Japanese Patients Who Have Recovered From COVID-19.	Circ J. 2024 Aug 23;88(9):1459-1460.	Original Article
58	Yamashita D, Kagawa Y, Ishiyama M, et al	循環器内科	Guide Wire Stimulation During Catheter Ablation for Atrial Fibrillation-Induced Cardiac Arrest in a Patient With Preexisting Left Bundle Branch Block: A Case Report.	Cureus. 2024 Oct 20;16(10):e71949. (オンライン)	Case Report
59	Makino M, Moriwaki K, Fujimoto N, et al	循環器内科	Vanishing Left Atrial Mass in a Middle-aged Woman: Spontaneous Intramural Left Atrial Hematoma in Isolated Atrial Amyloidosis.	Circ Cardiovasc Imaging. 2024 Dec;17(12):e016905.	Original Article
60	Takasaki A, Ito H, Kurita T, et al	循環器内科	Intraplaque Hemorrhage Is a Key Finding in Sudden Cardiac Death Resulting From Coronary Vasospasm.	JACC Case Rep. 2025 Mar 5;30(5):103387.	Original Article
61	Moriwaki K, Kurita T, Yamaguchi K, et al	循環器内科	Associations Between Mean Arterial Pressure and Prognosis in Acute Myocardial Infarction Complicated by Cardiogenic Shock Differ Depending on Coma Status.	Circ Rep. 2025 Mar 7;7(4):247-256. (オンライン)	Original Article
62	Mori H, Kurita T, Uno K, et al	循環器内科	A Rare Case of Adventitial Cystic Disease of the Popliteal Artery With Intermittent Claudication With Recurrent Exacerbations and Remissions.	CJC Open. 2024 Dec 11;7(3):334-337. (オンライン)	Case Report
63	Sato T, Ogihara Y, Yamashita Y, et al	循環器内科	Incidence and risk factors of ischemic stroke in patients with cancer-associated venous thromboembolism: from the Contemporary Management and Outcomes in Patients With Venous Thromboembolism Registry-2.	Res Pract Thromb Haemost. 2024 Oct 30;8(8):102617. (オンライン)	Original Article
64	Ogihara Y, Yamashita Y, Morimoto T, et al	循環器内科	Clinical outcomes of cancer-associated isolated distal deep vein thrombosis: a comparison between asymptomatic and symptomatic thrombosis-findings from the ONCO DVT Study.	Res Pract Thromb Haemost. 2025 Mar 6;9(2):102722. (オンライン)	Original Article
65	Yamada K, Ida-Ichikawa M, Fujimoto N, et al	循環器内科	Takotsubo syndrome in a cancer patient treated with a combination of anti-cancer drugs including immune checkpoint inhibitors: a case report.	Eur Heart J Case Rep. 2024 Jul 23;8(8):ytae355. (オンライン)	Case Report
66	Omori T, Maruyama K, Ohta-Ogo K, et al	循環器内科	Clinical and Histopathological Characteristics of Patients With Myocarditis After mRNA COVID-19 Vaccination.	Circ J. 2024 Dec 25;89(1):120-129.	Original Article
67	Ogihara Y, Yamada N, Izumi D, et al	循環器内科	Exploratory rivaroxaban trial for isolated calf deep vein thrombosis with a risk factor of thrombosis extension: an open-label, multicenter, randomized controlled trial.	Res Pract Thromb Haemost. 2024 Jul 14;8(5):102515. (オンライン)	Original Article
68	Kurita T, Kuramitsu S, Ishii M, et al	循環器内科	Impact of Antiplatelet Therapy on 5-Year Outcomes After Fractional Flow Reserve-Guided Deferral of Revascularization in Nonsignificant Obstructive Coronary Artery Disease.	Circ Rep. 2024 Jul 20;6(8):313-321. (オンライン)	Original Article
69	Nakamori S, Yazdanian F, Ghanbari F, et al	循環器内科	Association of Epicardial Adipose Tissue and Ventricular Arrhythmias in Patients With Nonischemic Cardiomyopathy.	JACC Adv. 2024 Dec 26;3(12):101407. (オンライン)	Original Article
70	Omori T, Fujimoto N, Nishida K, et al	循環器内科	Culture-Negative Infective Endocarditis Due to Bartonella henselae.	JACC Case Rep. 2025 Jan 15;30(2):102810. (オンライン)	Case Report
71	Uno K, Fujimoto N, Kitano T, et al	循環器内科	Rate-Dependent Left Bundle Branch Block in Transthyretin Amyloid Cardiomyopathy.	Circ J. 2025 Feb 25;89(3):393.	Original Article

72	Murakami H, Fujimoto N, Moriwaki K, et al	循環器内科	Impact of Nutritional Status and Cardiopulmonary Exercise Testing-Based Exercise Education on Long-Term Outcomes in Acute Coronary Syndrome: Insights From the Mie ACS Registry.	Circ Rep. 2024 Nov 9;6(12):583-591. (オンライン)	Original Article
73	Katayama K, Dohi K	循環器内科	New Insights into Kidney Diseases.	Int J Mol Sci. 2024 Nov 22;25(23):12536. (オンライン)	Original Article
74	Katayama K, Saiki R, Dohi K	循環器内科	Special Issue "Nephrotic Syndrome: Pathomechanism, Diagnostics, and Novel Treatment Options".	Biomedicines. 2024 Dec 17;12(12):2862. (オンライン)	Original Article
75	Kagawa Y, Takafuji M, Fujita S, et al	循環器内科	Myocardial extracellular volume fraction estimations using late enhancement CT in patients with atrial fibrillation: a comparative study with cardiac MR.	Int J Cardiovasc Imaging. 2025 Mar;41(3):419-426.	Original Article
76	Nakamori S, Amyar A, Fahmy AS, et al	循環器内科	Cardiovascular Magnetic Resonance Radiomics to Identify Components of the Extracellular Matrix in Dilated Cardiomyopathy.	Circulation. 2024 Jul 2;150(1):7-18.	Original Article
77	Ito H, Fujimoto N, Mori H, et al	循環器内科	Unveiling the new era of heart failure management using mobile health: A pilot study of "heart sign" focusing on user experience and quality of life.	J Cardiol. 2024 Oct;84(4):276-278.	Letter
78	Nakamura A, Masuya M, Shinmei M, et al	血液内科	Bahcc1 is critical for the aberrant epigenetic program in a mouse model of MLL-ENL-mediated leukemia.	Blood Adv. 2024 May 14;8(9):2193-2206.	Original Article
79	Nagaharu K, Ohya E, Edahiro Y, et al	血液内科	Predictive significance of high neutrophil ratio for thrombosis in myeloproliferative neoplasms: JSH-MPN-R18 subanalysis.	Ann Hematol. 2024 Sep;103(9):3535-3541.	Original Article
80	Kashima E, Sugimoto Y, Nagaharu K, et al	血液内科	Venetoclax is effective for chronic myelomonocytic leukemia blastic transformation with RUNX1 mutation.	Hematology. 2024 Dec;29(1):2392908.	Case Report
81	Hachiya K, Masuya M, Kuroda N, et al	血液内科	Pravastatin prevents colitis-associated carcinogenesis by reducing CX3CR1(high) M2-like fibrocyte counts in the inflamed colon.	Sci Rep. 2024 Oct 3;14(1):23021. (オンライン)	Original Article
82	Sugimoto Y, Nagaharu K, Ohya E, et al	血液内科	Clinical characteristics in adolescents and young adults with polycythemia vera and essential thrombocythemia in Japan.	Int J Hematol. 2024 Dec;120(6):684-693.	Original Article
83	Fujiwara N, Kimura G, Nakagawa H	消化器・肝臓内科	Emerging Roles of Spatial Transcriptomics in Liver Research.	Semin Liver Dis. 2024 May;44(2):115-132.	Original Article
84	Ikenoyama Y, Namikawa K, Takamatsu M, et al	消化器・肝臓内科	Risk stratification for synchronous/metachronous recurrence after endoscopic submucosal dissection for Barrett's esophageal adenocarcinoma using the length of Barrett's esophagus.	Esophagus. 2024 Jul;21(3):357-364.	Original Article
85	Ikenoyama Y, Namikawa K, Takamatsu M, et al	消化器・肝臓内科	Long- vs short-segment Barrett's esophagus-derived adenocarcinoma: clinical features and outcomes of endoscopic submucosal dissection.	Surg Endosc. 2024 Jul;38(7):3636-3644.	Original Article
86	Tamai Y, Hosotani M, Shigefuku R, et al	消化器・肝臓内科	Novel mutation of transferrin receptor 2 causing hereditary hemochromatosis type 3 in a Japanese patient.	Hepatol Res. 2024 Jun 8.	Case Report

87	Yamada R, Kuriyama N, Tanaka T, et al	消化器・肝臓内科	Inside stent placement is suitable for preoperative biliary drainage in patients with perihilar cholangiocarcinoma.	BMC Gastroenterol. 2024 May 20;24(1):174. (オンライン)	Original Article
88	Shigefuku R, Iwasa M, Tanaka H, et al	消化器・肝臓内科	Prognostic Significance of Psoas Muscle Index in Unresectable Hepatocellular Carcinoma: Comparative Analysis of Lenvatinib and Atezolizumab Plus Bevacizumab.	J Clin Med. 2024 Oct 4;13(19):5925. (オンライン)	Original Article
89	Fujiwara N, Lopez C, Marsh TL, et al	消化器・肝臓内科	Phase 3 Validation of PAaM for Hepatocellular Carcinoma Risk Stratification in Cirrhosis.	Gastroenterology. 2025 Mar;168(3):556–567.e7.	Original Article
90	Kobayashi M, Hamada Y, Usui M, et al	消化器・肝臓内科	Gastric dysplasia arising from a submucosal heterotopic gastric gland.	JGH Open. 2024 Oct 28;8(10):e70047. (オンライン)	Original Article
91	Kido K, Ikenoyama Y, Yoshimizu S, et al	消化器・肝臓内科	Four cases of early stage poorly differentiated non-ampullary duodenal adenocarcinoma: a case report.	Clin J Gastroenterol. 2025 Feb;18(1):74–80.	Case Report
92	Hamada Y, Nakagawa H	消化器・肝臓内科	Diverticular bleeding in the third part of the duodenum as a cause of overt obscure gastrointestinal bleeding.	JGH Open. 2024 Nov 27;8(11):e70051. (オンライン)	Original Article
93	Nakagawa H	消化器・肝臓内科	New ubiquitomic subtypes in HCC: Insights for future therapeutic approaches.	Hepatology. 2024 Oct 7.	Original Article
94	Yamada R, Tanaka T, Shimada Y, et al	消化器・肝臓内科	6-mm vs 10-mm diameter fully covered self-expandable metal stents in patients with unresectable malignant distal bile duct stricture (COSMIC UNISON): study protocol for a multicenter, randomized controlled trial.	Trials. 2025 Feb 18;26(1):56. (オンライン)	Original Article
95	Shigefuku R, Iwasa M, Yoshikawa K, et al	消化器・肝臓内科	A rare case of idiopathic portal hypertension with portopulmonary hypertension occurred following splenectomy with a change in portal hemodynamics.	Clin J Gastroenterol. 2025 Feb;18(1):130–136.	Case Report
96	Hamada Y, Tameda M, Nakagawa H	消化器・肝臓内科	Metachronous Liver Metastasis during Long-term Follow-up after Endoscopic Submucosal Dissection of a Small Rectal Neuroendocrine Neoplasm.	Intern Med. 2025 Feb 1.	Original Article
97	Okano T, Fujimoto H, Ito T, et al	呼吸器内科	Endobronchial tuberculosis mimicking malignancy: Lessons from a case report.	Respir Med Case Rep. 2025 Mar 30;55:102201. (オンライン)	Case Report
98	Yasuma T, Gabazza EC	糖尿病・内分泌内科	Cell Death in Acute Organ Injury and Fibrosis.	Int J Mol Sci. 2024 Apr 1;25(7):3930. (オンライン)	Original Article
99	Wakita H, Takahashi Y, Masuzugawa S, et al	脳神経内科	Alterations in driving ability and their relationship with morphometric magnetic resonance imaging indicators in patients with amnesic mild cognitive impairment and Alzheimer’s disease.	Psychogeriatrics. 2024 Jul;24(4):830–837.	Original Article
100	Ishikawa H, Kimura S, Takase H, et al	脳神経内科	Sex differences in the role of AKAP12 in behavioral function of middle-aged mice.	Biol Sex Differ. 2024 Nov 21;15(1):93. (オンライン)	Original Article
101	Kajikawa H, Matsuura K, Ii Y, et al	脳神経内科	Effects of Goreisan in the Perioperative Period of Subthalamic Deep Brain Stimulation in Parkinson’s Disease.	Brain Behav. 2024 Oct;14(10):e70069.	Original Article

102	Okubo T, Ishikawa H, Matsuura K, et al	脳神経内科	Internal carotid artery dissection in a patient with Parkinson's disease after COVID-19 infection.	eNeurologicalSci. 2024 Sep 27;37:100529. (オンライン)	Case Report
103	Ishikawa H, Hoshino T, Hamanaka G, et al	脳神経内科	Effects of aging on diurnal transcriptome change in the mouse corpus callosum.	iScience. 2024 Dec 9;28(1):111556. (オンライン)	Original Article
104	Matsumoto R, Motomura E, Okada M	精神科神経科	Impacts of Working Hours, Wages, and Regular Employment Opportunity on Suicide Mortalities of Employed and Unemployed Individuals before and during the COVID-19 Pandemic in Japan.	Int J Environ Res Public Health. 2024 Apr 18;21(4):499. (オンライン)	Original Article
105	Matsumoto R, Motomura E, Okada M	精神科神経科	Temporal Fluctuations of Suicide Mortality in Japan from 2009 to 2023 Using Government Databases.	Eur J Investig Health Psychol Educ. 2024 Apr 21;14(4):1086-1100. (オンライン)	Original Article
106	Okubo R, Matsumoto R, Motomura E, et al	精神科神経科	Uncertainties of Economic Policy and Government Management Stability Played Important Roles in Increasing Suicides in Japan from 2009 to 2023.	Int J Environ Res Public Health. 2024 Oct 16;21(10):1366. (オンライン)	Original Article
107	Okada M, Matsumoto R, Motomura E	精神科神経科	Suicide mortality rates in Japan before and beyond the COVID-19 pandemic era.	PCN Rep. 2024 Apr 1;3(2):e188. (オンライン)	Original Article
108	Okubo R, Okada M, Motomura E	精神科神経科	Dysfunction of the NMDA Receptor in the Pathophysiology of Schizophrenia and/or the Pathomechanisms of Treatment-Resistant Schizophrenia.	Biomolecules. 2024 Sep 6;14(9):1128. (オンライン)	Original Article
109	Motomura E, Inui K, Okada M	精神科神経科	Effect of the magnitude of abrupt change in sound pressure on the magnitude and phase synchrony of 40-Hz auditory steady state response.	Neuroscience. 2024 Nov 22;561:119-126.	Original Article
110	Okada M, Fukuyama K, Motomura E	精神科神経科	Impacts of exposure to and subsequent discontinuation of clozapine on tripartite synaptic transmission.	Br J Pharmacol. 2024 Nov;181(22):4571-4592.	Original Article
111	Shiroyama T, Maeda M, Tani H, et al	精神科神経科	Distinguished Frontal White Matter Abnormalities Between Psychotic and Nonpsychotic Bipolar Disorders in a Pilot Study.	Brain Sci. 2025 Jan 23;15(2):108. (オンライン)	Original Article
112	Tsuboya N, Mitani Y, Ohashi H, et al	小児科	Hybrid treat-and-repair strategy for large patent ductus arteriosus: a proof-of-concept case report.	Eur Heart J Case Rep. 2024 Jul 23;8(8):ytac354. (オンライン)	Case Report
113	Takeoka M, Sawada H, Mitani Y, et al	小児科	Persistent pulmonary hypertension in children after apparent resolution of ultrasound-defined pulmonary hypertension associated with bronchopulmonary dysplasia.	Eur J Pediatr. 2024 Nov 19;184(1):26. (オンライン)	Original Article
114	Ushida E, Toyoda H, Kohso A, et al	小児科	Secondary neoplasms in survivors of pediatric acute lymphoblastic leukemia and lymphoblastic lymphoma: a single-center, retrospective study.	Front Pediatr. 2025 Jan 28;13:1530832. (オンライン)	Original Article
115	Kohso A, Toyoda H, Morimoto M, et al	小児科	Acute Liver Failure in a 17-Year-Old Boy Caused by a Blastic Plasmacytoid Dendritic Cell Neoplasm With a Novel MYB Rearrangement.	Pediatr Blood Cancer. 2025 Mar;72(3):e31542.	Letter
116	Kohso A, Toyoda H, Hanaki R, et al	小児科	Inotuzumab ozogamicin for relapse prevention in a boy with Down syndrome and relapsed acute lymphoblastic leukemia.	Int J Hematol. 2025 Feb;121(2):276-280.	Case Report

117	Mizutani Y, Hayashi A, Yamanaka K	皮膚科	Neonatal lupus erythematosus with histopathological presentation of interstitial granulomatous dermatitis.	Int J Dermatol. 2025 Apr;64(4):733–735.	Letter
118	Kondo M, Goto D, Habe K, et al	皮膚科	Changes in skin bacterial flora during the healing process of ulcer caused by self-destruction of lymph nodes due to tuberculous lymphadenitis.	J Dermatol. 2024 Nov;51(11):1492–1495.	Case Report
119	Sakashita C, Mizutani K, Nishimura M, et al	皮膚科	A case of Stevens–Johnson syndrome after influenza a virus infection.	J Dermatol. 2025 Feb;52(2):e176–e177.	Letter
120	Matsuura Y, Mizutani Y, Kondo M, et al	皮膚科	Lichen planus pemphigoides treated with a low dose of oral prednisolone and omalizumab.	JAAD Case Rep. 2024 Sep 19;53:122–125. (オンライン)	Case Report
121	Nakanishi T, Iida S, Ichishi M, et al	皮膚科	Amelioration of Systemic Amyloidosis by Blocking IL–17A and Not by IL–17F, and Arteriosclerosis by Blocking Both IL–17A and IL–17F in an Inflammatory Skin Mouse Model.	Int J Mol Sci. 2024 Oct 29;25(21):11617. (オンライン)	Original Article
122	Kondo M, Habe K, Tanaka M, et al	皮膚科	Consideration of Diagnostic Methods for Cutaneous Larva Migrans in the Sole of an 8–Year–Old Boy.	Parasite Immunol. 2024 Dec;46(12):e13078.	Case Report
123	Iida S, Muramatsu K, Mizuno A, et al	皮膚科	Improvement of acute phase symptoms of pemphigus foliaceus with spesolimab.	JAAD Case Rep. 2024 Sep 18;55:40–44. (オンライン)	Case Report
124	Kogue R, Maeda M, Kishi S, et al	放射線科	Benign Enhancing Foramen Magnum Lesions.	Neurology. 2024 Dec 10;103(11):e210083.	Original Article
125	Hayasaki A, Kuriyama N, Usui M, et al	肝胆膵・移植外科	A Case of Robot–Assisted Pylorus–Preserving Pancreatoduodenectomy for Branch–Duct Intraductal Papillary Mucinous Neoplasms Complicated With an Annular Pancreas.	Asian J Endosc Surg. 2025 Jan–Dec;18(1):e70022.	Case Report
126	Hayasaki A, Kuriyama N, Kaluba B, et al	肝胆膵・移植外科	Hepatopancreatoduodenectomy with delayed division of the pancreatic parenchyma when utilizing a right lateral approach to the superior mesenteric artery.	Surg Case Rep. 2024 Jul 2;10(1):165. (オンライン)	Original Article
127	Kuriyama N, Tanemura A, Kaluba B, et al	肝胆膵・移植外科	A comparison of pancreatojejunostomy using the modified Blumgart anastomosis with or without a four–needle three–loop suture device and continuous sutures for duct–to–mucosa anastomosis in robotic pancreaticoduodenectomy.	Surg Today. 2025 Mar;55(3):343–350.	Original Article
128	Murata Y, Noguchi D, Ito T, et al	肝胆膵・移植外科	Superiority of Robotic Over Laparoscopic Spleen–Preserving Distal Pancreatectomy With Warshaw Procedure for Reducing the Incidence of Postoperative Splenic Infarction.	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech. 2024 Oct 1;34(5):472–478. (オンライン)	Original Article
129	Fujii T, Iizawa Y, Kobayashi T, et al	肝胆膵・移植外科	Radiomics–based prediction of nonalcoholic fatty liver disease following pancreatoduodenectomy.	Surg Today. 2024 Aug;54(8):953–963.	Original Article
130	Mizuno S, Iizawa Y, Tanemura A, et al	肝胆膵・移植外科	Laparoscopic left hepatectomy for a patient with an absence of portal bifurcation using real–time imaging: a case report.	Surg Case Rep. 2024 Jun 11;10(1):140. (オンライン)	Original Article
131	Murata Y, Tsuji N, Noguchi D, et al	肝胆膵・移植外科	Laparoscopic Warshaw procedure in pediatric solid pseudopapillary neoplasm of the pancreas: Technical feasibility and oncological outcomes.	Asian J Endosc Surg. 2024 Jul;17(3):e13336.	Case Report

132	Kishiwada M, Mizuno S, Hayasaki A, et al	肝胆膵・移植外科	Impact of Surgical Resection After Induction Gemcitabine Plus S-1-Based Chemoradiotherapy in Patients with Locally Advanced Pancreatic Ductal Adenocarcinoma: A Focus on UR-LA Cases.	Cancers (Basel). 2025 Mar 20;17(6):1048. (オンライン)	Original Article
133	Yuge T, Murata Y, Noguchi D, et al	肝胆膵・移植外科	Peritoneal washing cytology status as a crucial prognostic determinant in patients with localized pancreatic ductal adenocarcinoma who underwent curative-intent resection following preoperative chemoradiotherapy.	PLoS One. 2024 Sep 6;19(9):e0309834. (オンライン)	Original Article
134	Kuriyama N, Fujii T, Kaluba B, et al	肝胆膵・移植外科	Short-term surgical outcomes of open, laparoscopic, and robot-assisted pancreatoduodenectomy: A comparative, single-center, retrospective study.	Asian J Endosc Surg. 2025 Jan-Dec;18(1):e13397.	Original Article
135	Tanemura A, Noguchi D, Shinkai T, et al	肝胆膵・移植外科	Prognostic significance of early and multiple recurrences after curative resection for hepatocellular carcinoma.	BMC Surg. 2024 Oct 29;24(1):339. (オンライン)	Original Article
136	Sakamoto T, Tanemura A, Kaluba B, et al	肝胆膵・移植外科	Institut Mutualiste Montsouris classification is associated with postoperative portal vein thrombosis in laparoscopic liver resection.	Surg Endosc. 2025 Mar;39(3):1924-1934.	Original Article
137	Yuge T, Murata Y, Ito T, et al	肝胆膵・移植外科	Distinct prognostic impacts of age-adjusted Charlson comorbidity index and geriatric nutritional risk index in patients with intraductal papillary mucinous neoplasm.	Medicine (Baltimore). 2025 Jan 10;104(2):e41215.	Original Article
138	Kaluba B, Kuriyama N, Sakamoto T, et al	肝胆膵・移植外科	Long-term survival analysis based on tumor location in patients with pancreatic ductal adenocarcinoma who underwent pancreatectomy following neoadjuvant chemoradiotherapy.	Langenbecks Arch Surg. 2025 Jan 22;410(1):47. (オンライン)	Original Article
139	Murata Y, Komatsubara H, Noguchi D, et al	肝胆膵・移植外科	Effect of Transpancreatic Mattress Suture With Polyglycolic Acid Sheet in Pancreatic Stump Closure for the Prevention of Postoperative Pancreatic Fistula in Robotic Distal Pancreatectomy.	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech. 2025 Feb 1;35(1):e1345. (オンライン)	Original Article
140	Ohi M, Toiyama Y, Yasuda H, et al	消化管外科	Prediction of Post-Gastrectomy Pancreatic Complications: A Preoperative Imaging Study Based on Computed Tomography.	Am Surg. 2024 Jun;90(6):1552-1560.	Original Article
141	Koike Y, Higashi K, Sato Y, et al	消化管外科	When is the optimal diagnostic biopsy timing of acetylcholinesterase staining in Hirschsprung disease?	BMC Pediatr. 2025 Feb 21;25(1):126. (オンライン)	Original Article
142	Yamashita S, Okita Y, Toiyama Y	消化管外科	Superior Rectal Arteriovenous Fistula: A Rare Cause of Colon Ischemia.	Clin Gastroenterol Hepatol. 2025 Mar 17:S1542-3565(25)00198-3.	Original Article
143	Yamashita S, Okugawa Y, Higashi K, et al	消化管外科	Direct triangular comparison of tissue and serum growth differentiation factor 15 with host factors in colorectal cancer.	Am J Cancer Res. 2025 Mar 15;15(3):1174-1188. (オンライン)	Original Article
144	Yamashita S, Okugawa Y, Mizuno N, et al	消化管外科	Inflammatory Burden Index as a promising new marker for predicting surgical and oncological outcomes in colorectal cancer.	Ann Gastroenterol Surg. 2024 May 28;8(5):826-835. (オンライン)	Original Article
145	Koike Y, Mizoguchi A, Uchida K, et al	消化管外科	Dynamic Pathology of Enteric Neural Network using Curcumin-assisted Multiphoton Laser Imaging in Hirschsprung Disease.	Ann Surg. 2024 Sep 12.	Original Article

146	Koike Y, Higashi K, Sato Y, et al	消化管外科	Preventive effect of Clostridium butyricum MIYAIRI against pouchitis in children with ulcerative colitis.	Surg Today. 2024 Dec 24.	Original Article
147	Higashi K, Koike Y, Sato Y, et al	消化管外科	Clinical evaluation of platelet-to-albumin ratio as a predictor of surgical site infection in pediatric patients with ulcerative colitis.	Surg Today. 2025 Feb 4.	Original Article
148	Shimura T, Yin C, Ma R, et al	消化管外科	The prognostic importance of the negative regulators of ferroptosis, GPX4 and HSPB1, in patients with colorectal cancer.	Oncol Lett. 2025 Jan 15;29(3):144. (オンライン)	Original Article
149	Yamashita S, Okugawa Y, Kitajima T, et al	消化管外科	Association between prognostic immune nutritional index and disease-free survival in adults with esophageal cancer following surgery: A retrospective cohort study.	JPEN J Parenter Enteral Nutr. 2025 May;49(4):497–506.	Original Article
150	Yamasaki T, Toba S, Sanders SP, et al	呼吸器外科	A modifiable valve-sparing pediatric cardiac dissection technique promotes specimen longevity and optimizes advanced image analysis postpathological examination.	Pathol Int. 2024 Jul;74(7):379–386.	Original Article
151	Yamasaki T, Sanders SP, Hyland RJ, et al	呼吸器外科	Pathology of explanted pediatric hearts: An 11-year study. Population characteristics and implications for outcomes.	Pediatr Transplant. 2024 Jun;28(4):e14742.	Original Article
152	Yamasaki T, Umezaki K, Toba S, et al	呼吸器外科	Bilateral pulmonary artery banding facilitates the systemic ventricular outflow tract growth for biventricular and univentricular repair candidates of complex arch anomaly.	Heart Vessels. 2024 Oct;39(10):891–898.	Original Article
153	Ito H, Bessho S, Shomura Y, et al	呼吸器外科	Long-term results of the frozen elephant trunk technique in primary chronic type B aortic dissection.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2024 Dec;72(12):770–778.	Original Article
154	Ito H, Bessho S, Shomura Y, et al	呼吸器外科	Left ventricular perforation by Impella 5.5 during surgery for postinfarction ventricular septal rupture.	Egypt Heart J. 2024 Nov 6;76(1):147. (オンライン)	Original Article
155	Toba S, Mitani Y, Sugitani Y, et al	呼吸器外科	Deep learning-based analysis of 12-lead electrocardiograms in school-age children: a proof of concept study.	Front Cardiovasc Med. 2025 Mar 5;12:1471989. (オンライン)	Original Article
156	Ito A, Kano S, Tarukawa T, et al	呼吸器外科	Intrinsic impacts of the expression of PD-L1 on postoperative recurrence in EGFR-mutated lung adenocarcinoma.	Front Oncol. 2024 Aug 30;14:1415729. (オンライン)	Original Article
157	Toba S, Sanders SP, Yamasaki T, et al	呼吸器外科	High-resolution three-dimensional atlas of congenital heart defects based on micro-CT images of human postmortem wax-infiltrated heart specimens.	Cardiovasc Pathol. 2025 Jan-Feb;74:107690.	Original Article
158	Kawaguchi K, Kaneda S, Ito D, et al	呼吸器外科	Robotic-Assisted Muscle-Sparing Chest Wall Resection Without Thoracotomy: Tips and Benefits for Lung Cancer Patients With Chest Wall Invasion.	Ann Thorac Surg Short Rep. 2024 Aug 24;3(1):190–192. (オンライン)	Original Article
159	Shimamoto A, Kojo N, Saiki H, et al	呼吸器外科	Pulmonary Enteric Adenocarcinoma in a Super-Elderly Patient: A Case Report and Literature Review.	Respirol Case Rep. 2025 Feb 19;13(2):e70127. (オンライン)	Original Article
160	Kawaguchi K, Ogura T, Kaneda S, et al	呼吸器外科	A prospective multi-institutional study to verify the non-inferiority of postoperative pain in robot-assisted thoracic surgery in comparison with video-assisted thoracoscopic surgery for lung cancer: The Japanese RATS interest group 01 (J-RATSIG 01).	Lung Cancer. 2024 Oct;196:107961.	Original Article

161	Nakamura K, Saito K, Higashi C, et al	naka	Evaluation of MAGE-A4 expression in breast cancer and its impact on prognosis.	Cancer Sci. 2025 Mar;116(3):744–752.	Original Article
162	Maki S, Takakura S, Tsuji M, et al	産科婦人科	Tadalafil for Treatment of Fetal Growth Restriction: A Review of Experimental and Clinical Studies.	Biomedicines. 2024 Apr 4;12(4):804. (オンライン)	Original Article
163	Maezawa T, Yonemura M, Baba K, et al	産科婦人科	Current Status and Issues of Collaboration Between Physicians and Pharmacists in Fertility Preservation.	J Adolesc Young Adult Oncol. 2024 Jun;13(3):514–522.	Original Article
164	Toriyabe K, Kitamura A, Ikejiri M, et al	産科婦人科	Cytomegalovirus DNA Loads in Organs of Congenitally Infected Fetus.	Viruses. 2024 May 31;16(6):891. (オンライン)	Case Report
165	Yamaguchi M, Takakura S, Tanaka H, et al	産科婦人科	Clinical Characteristics of the Controlled-Release Dinoprostone Vaginal Delivery System (PROPESS).	Tohoku J Exp Med. 2025 Mar 20;265(3):135–141.	Original Article
166	Nakao M, Kuwabara M, Saito M, et al	産科婦人科	Association between parental decisions regarding abortion and severity of fetal heart disease.	Sci Rep. 2024 Jul 1;14(1):15055. (オンライン)	Original Article
167	Magawa S, Nakao M, Nanba Y, et al	産科婦人科	Characteristics, intrapartum cardiotocography patterns, and postnatal brain imaging findings for cerebral palsy subtypes.	Am J Obstet Gynecol. 2025 Apr;232(4):e123–e126.	Letter
168	Nakao M, Izawa M, Takamisawa I, et al	産科婦人科	Tachycardia-Induced Cardiomyopathy Following Prolonged Ritodrine Infusion During Pregnancy: A Case Report.	Cureus. 2024 Dec 27;16(12):e76465. (オンライン)	Case Report
169	Kubo-Kaneda M, Kondo E, Nimura R, et al	産科婦人科	Analysis of endometrial liquid-based cytology samples to detect somatic mutations and classify ovarian cancer.	Oncol Lett. 2025 Jan 7;29(3):119. (オンライン)	Original Article
170	Kanamaru H, Suzuki H	脳神経外科	Therapeutic potential of stem cells in subarachnoid hemorrhage.	Neural Regen Res. 2025 Apr 1;20(4):936–945.	Original Article
171	Tanioka S, Aydin OU, Hilbert A, et al	脳神経外科	Prediction of hematoma expansion in spontaneous intracerebral hemorrhage using a multimodal neural network.	Sci Rep. 2024 Jul 16;14(1):16465. (オンライン)	Original Article
172	Yasuda R, Kimura N, Miura Y, et al	脳神経外科	Three-dimensional Images Fusion Method Useful for Preoperative Simulation of Clipping Surgery for Cerebral Aneurysms.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2024 May 15;64(5):175–183.	Original Article
173	Ikezawa M, Tanioka S, Nishikawa H, et al	脳神経外科	Temporal Shape Changes of Pedicle Screw-rod Constructs After Lumbar Interbody Fusion.	Spine (Phila Pa 1976). 2024 Nov 1;49(21):1504–1511.	Original Article
174	Aoki K, Kawakita F, Hakozaki K, et al	脳神経外科	Increased Plasma Levels of Thrombin-Cleaved Osteopontin in Patients with Delayed Cerebral Infarction After Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage.	Int J Mol Sci. 2025 Mar 19;26(6):2781. (オンライン)	Original Article
175	Tanioka S, Aydin OU, Hilbert A, et al	脳神経外科	Reliability of ABC/2 volumetric estimation in spontaneous intracerebral hemorrhage for hematoma expansion prediction scores.	Eur Stroke J. 2024 Oct 30;23969873241293572.	Original Article

176	Kawakita F, Nakajima H, Suzuki Y, et al	脳神経外科	Effects of Haptoglobin on Early Brain Injury, Vasospasm, and Lymphatic Drainage After Subarachnoid Hemorrhage in Mice.	Stroke. 2024 Dec;55(12):2885–2895.	Original Article
177	Nakajima H, Kawakita F, Okada T, et al	脳神経外科	Treatment factors to suppress delayed cerebral ischemia after aneurysmal subarachnoid hemorrhage based on VASOGRADE: multicenter cohort study.	Neurosurg Rev. 2024 Sep 7;47(1):564. (オンライン)	Original Article
178	Suzuki Y, Toma N, Suzuki H	脳神経外科	My Short-Term Neurointerventional Training in Thailand Supported by a Women’s Observership Program of the World Federation of Interventional and Therapeutic Neuroradiology.	J Neuroendovasc Ther. 2024;18(10):263–266.	Original Article
179	Suzuki Y, Okada T, Oinaka H, et al	脳神経外科	Independent elevation of plasma fibulin-5 proceeding chronic hydrocephalus development after aneurysmal subarachnoid hemorrhage.	Clin Neurol Neurosurg. 2024 Dec;247:108634.	Original Article
180	Yasuda R, Toma N, Hatazaki S, et al	脳神経外科	A Steerable Microcatheter Effectively Worked in Tumor Embolization.	J Neuroendovasc Ther. 2024;18(12):321–325.	Case Report
181	Hagi T, Nakamura T, Yuasa H, et al	整形外科	Prediction of prognosis using artificial intelligence-based histopathological image analysis in patients with soft tissue sarcomas.	Cancer Med. 2024 May;13(10):e7252.	Original Article
182	Hasegawa M, Naito Y, Tone S, et al	整形外科	Comparison between accuracy of augmented reality computed tomography-based and portable augmented reality-based navigation systems for cup insertion in total hip arthroplasty.	Sci Rep. 2024 Apr 9;14(1):8332. (オンライン)	Original Article
183	Naito Y, Hasegawa M, Tone S, et al	整形外科	Comparison of femoral bone remodeling after total hip arthroplasty with cementless short-tapered wedge stem and fully hydroxyapatite-coated stem.	Arch Orthop Trauma Surg. 2024 Aug;144(8):3767–3774.	Original Article
184	Tone S, Naito Y, Wakabayashi H, et al	整形外科	Association between femorotibial rotational mismatch and early clinical outcomes after bi-cruciate retaining total knee arthroplasty.	BMC Musculoskelet Disord. 2025 Mar 13;26(1):251. (オンライン)	Original Article
185	Naito Y, Hasegawa M, Kobayashi G, et al	整形外科	Accuracy and clinical outcomes in total knee arthroplasty using an image-free navigation system.	Arch Orthop Trauma Surg. 2025 Mar 14;145(1):190. (オンライン)	Original Article
186	Yoshida K, Asanuma K, Matsuyama Y, et al	整形外科	Release of Exosomal PD-L1 in Bone and Soft Tissue Sarcomas and Its Relationship to Radiotherapy.	Cancers (Basel). 2024 Jul 8;16(13):2489. (オンライン)	Original Article
187	Nakamura T, Hasegawa M	整形外科	Treatment strategies for advanced synovial sarcoma: from chemotherapy to TCR-engineered T-cell therapy.	Int J Clin Oncol. 2025 May;30(5):878–885.	Original Article
188	Nakamura T, Ogura K, Hayakawa K, et al	整形外科	Real-world Referral Pattern of Unplanned Excision in Patients With Soft-tissue Sarcoma: A Multicenter Study Conducted by the Bone and Soft-tissue Tumor Study Group of the Japan Clinical Oncology Group.	In Vivo. 2024 Nov-Dec;38(6):2712–2717.	Original Article
189	Asanuma K, Tsujii M, Hagi T, et al	整形外科	Complications of chest wall around malignant tumors: differences based on reconstruction strategy.	BMC Cancer. 2024 Aug 6;24(1):964. (オンライン)	Original Article
190	Kobayashi G, Ichikawa S, Tone S, et al	整形外科	Accuracy of leg length changes in total hip arthroplasty using a computed tomography-based augmented reality navigation system.	Arch Orthop Trauma Surg. 2024 Dec 12;145(1):17. (オンライン)	Original Article

191	Wakabayashi H, Hasegawa M, Naito Y, et al	整形外科	Long-Term Outcome of Treating Periprosthetic Hip Joint Infection with Local Antibiotics Delivered Through Antibiotic-Impregnated Calcium Hydroxyapatite.	J Clin Med. 2024 Dec 8;13(23):7469. (オンライン)	Original Article
192	Asanuma K, Nakatsuka A, Nakamura T, et al	整形外科	Cryoablation for Malignant Bone and Soft Tissue Tumors and Histological Assessment of Ablated Tumors.	Anticancer Res. 2024 Dec;44(12):5463–5476.	Original Article
193	Wakabayashi H, Hasegawa M, Naito Y, et al	整形外科	The Long-Term Survivorship and Cause of Failure of Metal-on-Metal Total Hip Arthroplasty.	Antibiotics (Basel). 2025 Feb 6;14(2):161. (オンライン)	Original Article
194	Matsuyama Y, Nakamura T, Yuasa H, et al	整形外科	Skin and soft tissue disorders caused by trabectedin extravasation: A case report.	Biomed Rep. 2025 Jan 27;22(3):55. (オンライン)	Case Report
195	Nakamura T, Kobayashi E, Takenaka S, et al	整形外科	Predictive variables for intraoperative blood loss and surgical time in resection of malignant soft tissue tumors without reconstruction.	Jpn J Clin Oncol. 2025 Feb 17:hyaf030.	Original Article
196	Inoue T, Bao X, Kageyama T, et al	腎泌尿器外科	Purine-Rich Element Binding Protein Alpha, a Nuclear Matrix Protein, Has a Role in Prostate Cancer Progression.	Int J Mol Sci. 2024 Jun 24;25(13):6911. (オンライン)	Original Article
197	Sasaki T, Kobayashi I, Uchida K, et al	腎泌尿器外科	Cribriform pattern 4/intraductal carcinoma of the prostate and persistent prostate-specific antigen after radical prostatectomy.	BJUI Compass. 2024 May 15;5(7):709–717. (オンライン)	Original Article
198	Owa S, Sasaki T, Ikadai R, et al	腎泌尿器外科	Psoas mass index at the level of the third lumbar vertebra on computed tomography is a prognostic predictor for metastatic castration-sensitive prostate cancer.	Int J Clin Oncol. 2024 Jun;29(6):840–846.	Original Article
199	Sasaki T, Ryota I, Ishiyama A, et al	腎泌尿器外科	Muscle invasive bladder cancer treated with gemcitabine plus cisplatin as neoadjuvant chemotherapy during the second trimester of pregnancy.	IJU Case Rep. 2025 Jan 28;8(2):138–141. (オンライン)	Original Article
200	Sugino Y, Nishikawa T, Inaba S, et al	腎泌尿器外科	Cisplatin-induced therapy-related myelodysplastic syndrome during avelumab maintenance therapy for metastatic urothelial carcinoma.	Int Cancer Conf J. 2025 Jan 24;14(2):73–78. (オンライン)	Original Article
201	Sasaki T, Higashi T, Inoue T	腎泌尿器外科	Urological cancer statistics on incidence from 1975 to 2019 and mortality from 1958 to 2022 in Japan.	Int J Clin Oncol. 2024 Aug;29(8):1088–1095.	Original Article
202	Inamoto S, Matsubara H, Uchiyama E, et al	眼科	Choroidal Osteoma With Choroidal Excavation Due to Decalcification Five Years After Photodynamic Therapy: A Case Report.	Cureus. 2024 May 3;16(5):e59581. (オンライン)	Case Report
203	Chujo S, Matsubara H, Matsui Y, et al	眼科	Case of acute retinal necrosis with rapid progression to proliferative vitreoretinopathy: A case report.	Medicine (Baltimore). 2024 May 17;103(20):e38150.	Case Report
204	Matsubara H, Chujo S, Mase Y, et al	眼科	Effects of angle of incidence of stimulus light on photopic electroretinograms of zebrafish larvae.	Sci Rep. 2024 Jun 26;14(1):14733. (オンライン)	Original Article
205	Irie-Ota A, Matsui Y, Imai K, et al	眼科	Predicting postoperative visual acuity in epiretinal membrane patients and visualization of the contribution of explanatory variables in a machine learning model.	PLoS One. 2024 Jul 22;19(7):e0304281. (オンライン)	Original Article

206	Kato K, Nagashima R, Matsubara H, et al	眼科	Case of uveitis with increased electroretinographic amplitudes following Nivolumab and Ipilimumab administration for malignant melanoma.	Doc Ophthalmol. 2025 Mar 12.	Original Article
207	Sugimoto M, Chujo S, Kato K, et al	眼科	Real-World Outcomes of Different Types of Treatment for Diabetic Macular Edema Before and After Approval of Anti-Vascular Endothelium Growth Factor Agents.	J Clin Med. 2024 Dec 2;13(23):7336. (オンライン)	Original Article
208	Chujo S, Matsubara H, Ichio A, et al	眼科	THREE CASES OF ACUTE RETINAL NECROSIS WITH ATYPICAL FUNDUS FINDINGS.	Retin Cases Brief Rep. 2024 May 1;18(3):308–311.	Case Report
209	Chujo S, Matsubara H, Kawakami H, et al	眼科	Function and Circulation of the Retina and Choroid in Case of Indolent Nonprogressive Multifocal Choroidal Lesions.	Cureus. 2024 Jun 8;16(6):e61962. (オンライン)	Case Report
210	Mase Y, Matsui Y, Imai K, et al	眼科	Preoperative OCT Characteristics Contributing to Prediction of Postoperative Visual Acuity in Eyes with Macular Hole.	J Clin Med. 2024 Aug 15;13(16):4826. (オンライン)	Original Article
211	Kashima Y, Kato K, Chujo S, et al	眼科	Transient increase of flicker electroretinograms after combined cataract surgery and vitrectomy for idiopathic epiretinal membrane.	Sci Rep. 2024 Oct 9;14(1):23634. (オンライン)	Original Article
212	Chujo S, Matsubara H, Mase Y, et al	眼科	Recurrence Rate during 5-Year Period after Suspension of Anti-Vascular Endothelial Growth Factor Treatment for Neovascular Age-Related Macular Degeneration.	J Clin Med. 2024 Jul 24;13(15):4317. (オンライン)	Original Article
213	Hata N, Chujo S, Matsubara H, et al	眼科	Expansion of the MIRAgel Scleral Buckle With Findings Resembling Necrotizing Scleritis: A Case Report.	Cureus. 2024 Nov 10;16(11):e73409. (オンライン)	Case Report
214	Xu Y, Ueda K, Nishikido T, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Two Japanese Pediatric Patients With Primary Ciliary Dyskinesia Caused by Loss-of-Function Variants in the CCNO gene.	Cureus. 2024 Apr 23;16(4):e58854. (オンライン)	Case Report
215	Sakaida H, Ichikawa Y, Yamazaki A, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Ultra-High Spatial Resolution Images of the Temporal Bone Obtained With a Newly Released Photon-Counting Detector Computed Tomography.	Ear Nose Throat J. 2024 Apr 24;1455613241235551.	Original Article
216	Uemura K, Kobayashi M, Otohe Y, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Congenital choanal atresia where the atretic wall thickened while waiting for an elective surgery.	Int J Surg Case Rep. 2024 Jun;119:109737.	Case Report
217	Xu Y, Tsurinaga Y, Matsumoto T, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Two Pediatric Cases of Primary Ciliary Dyskinesia Caused by Loss-of-Function Variants in Oral-Facial-Digital Syndrome Gene, OFD1.	Case Rep Genet. 2024 Aug 9;2024:1595717. (オンライン)	Case Report
218	Mitsui K, Banda CH, Danno K, et al	形成外科	Immediate foot reconstruction and revascularization of toes using an interposition superficial circumflex iliac artery perforator flow-through flap: A case report.	Microsurgery. 2024 Sep;44(6):e31216.	Case Report
219	Akama Y, Park EJ, Satoh-Takayama N, et al	救急科	Roles of programmed death-1 and muscle innate lymphoid cell-derived interleukin 13 in sepsis-induced intensive care unit-acquired weakness.	J Cachexia Sarcopenia Muscle. 2024 Oct;15(5):1999–2012.	Original Article
220	Shimizu A, Tomata Y	リハビリテーション科	Editorial: Epidemiological studies on Japanese diets, health, and nutritional outcomes.	Front Nutr. 2024 Jul 3;11:1448258. (オンライン)	Original Article

221	Shimizu A, Yamaguchi K, Kunieda K, et al	リハビリテーション科	Dietary intervention for post-stroke dysphagia.	Lancet Neurol. 2024 Aug;23(8):763-764.	Letter
222	Shimizu A, Ikeda T, Miyaguni Y, et al	リハビリテーション科	Association between the incidence of functional disability and frequency of eating together among older adults living alone: a 6-year follow-up study from the Japan Gerontological Evaluation Study.	Age Ageing. 2024 Jul 2;53(7):afae153.	Original Article
223	Shimizu A, Maeda K, Ueshima J, et al	リハビリテーション科	Effects of Sarcopenia on Changes in the Prevalence of Patients with Depressive Mood during Inpatient Geriatric Rehabilitation.	Ann Geriatr Med Res. 2024 Dec;28(4):469-475.	Original Article
224	Momosaki R, Shirai Y, Nagano F, et al	リハビリテーション科	Beyond Real Congress: Academic Congress in the Metaverse Provides Exciting and Novel Educational Experience.	Prog Rehabil Med. 2024 Jun 5;9:20240020. (オンライン)	Original Article
225	Shirai Y, Momosaki R, Kato Y, et al	リハビリテーション科	Nutritional Care for Adults in Nursing Homes: A Scoping Review.	J UOEH. 2024;46(2):227-239.	Original Article
226	Tohyama M, Momosaki R, Tora K, et al	リハビリテーション科	The Impact of Avatar Appearance on the Persuasiveness of a Short Video Encouraging Physical Activity: A Randomized Observational Study.	Cureus. 2025 Feb 5;17(2):e78582. (オンライン)	Original Article
227	Tohyama M, Momosaki R, Shirai Y, et al	リハビリテーション科	Digital health interventions for non-older individuals at risk of frailty: A systematic review and meta-analysis.	Digit Health. 2025 Mar 21;11:20552076251328566. (オンライン)	Original Article
228	Ushida K, Wakabayashi H, Kinoshita S, et al	リハビリテーション科	Association between bed-rest time, food intake, and constipation in older nursing home residents.	Geriatr Gerontol Int. 2025 Apr;25(4):583-587.	Original Article
229	Shimizu A, Maeda K, Ueshima J, et al	リハビリテーション科	Association of GLIM-defined malnutrition with depressive mood in older adults undergoing rehabilitation.	Eur J Clin Nutr. 2025 Feb 20.	Original Article
230	Momosaki R, Tora K, Shirai Y, et al	リハビリテーション科	Strategies to Promote Physical Activity among Sedentary Metaverse Residents.	Prog Rehabil Med. 2024 Nov 28;9:20240038. (オンライン)	Original Article
231	Kato Y, Ushida K, Momosaki R	リハビリテーション科	Evaluating the Accuracy of ChatGPT in the Japanese Board-Certified Psychiatrist Examination.	Cureus. 2024 Dec 22;16(12):e76214. (オンライン)	Original Article
232	Ochiai K, Kameda I, Kato Y, et al	リハビリテーション科	Impact of Delayed Postoperative Rehabilitation on Patients with Valvular Heart Disease: A Retrospective Cohort Study.	Prog Rehabil Med. 2025 Feb 21;10:20250006. (オンライン)	Original Article
233	Yasukawa M, Shimizu A, Tohyama M, et al	リハビリテーション科	Key Implications in the Detection of Cognitive Frailty.	J Am Med Dir Assoc. 2025 Apr;26(4):105499.	Letter
234	Kato Y, Ushida K, Shimizu M, et al	リハビリテーション科	Impact of Early Rehabilitation after Endovascular Treatment for Peripheral Arterial Disease.	Prog Rehabil Med. 2024 Jun 8;9:20240021. (オンライン)	Original Article
235	Yamamoto Y, Hori S, Ushida K, et al	リハビリテーション科	Impact of Frailty Risk on Functional Outcome after Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage: A Historical Cohort Study.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2024 Nov 15;64(11):409-417.	Original Article

236	Usui M, Uchida K, Hayasaki A, et al	病理診断科	Prognostic impact of the distance from the anterior surface to tumor cells in pancreatoduodenectomy with neoadjuvant chemoradiotherapy for pancreatic ductal adenocarcinoma.	PLoS One. 2024 Jul 26;19(7):e0307876. (オンライン)	Original Article
237	Semba R, Uchida K, Hirokawa Y, et al	病理診断科	A simple risk stratification model for prostate cancer using histopathologic findings of radical prostatectomy.	Am J Clin Pathol. 2024 Oct 3;162(4):420–425.	Original Article
238	Ishii K, Iguchi K, Matsuda C, et al	病理診断科	Application of Original Prostate Cancer Progression Model Interacting with Fibroblasts in Preclinical Research.	J Clin Med. 2024 Dec 22;13(24):7837. (オンライン)	Original Article
239	Liu M, Akahori Y, Imai N, et al	血液内科	MAGE-A4 pMHC-targeted CAR-T cells exploiting TCR machinery exhibit significantly improved in vivo function while retaining antigen specificity.	J Immunother Cancer. 2024 Nov 20;12(11):e010248. (オンライン)	Original Article
240	Nishimura A, Fujikawa Y, Senga Y, et al	整形外科	Recurrent peroneal tendon dislocation-the current concept of management.	Ann Jt. 2024 Aug 30;9:40. (オンライン)	Original Article
241	Yamaguchi M, Fukuhara N, Takizawa J, et al	血液内科	Alemtuzumab monotherapy for T-cell prolymphocytic leukemia: an observational study in Japan.	J Clin Exp Hematop. 2024 Sep 28;64(3):216–222.	Original Article
242	Nato Y, Miyazaki K, Maruyama D, et al	血液内科	Treatments and Outcomes of Newly Diagnosed CD5-Positive Diffuse Large B-Cell Lymphoma: A Multi-Institutional Observational Study.	Hematol Oncol. 2025 Mar;43(2):e70047.	Original Article
243	Ono R, Horibata K	総合診療部	Four Cases of Calcium Pyrophosphate Deposition Disease Presenting With Polymyalgia-Like Symptoms and Chondrocalcinosis in the Shoulder and Hip Joints Identified on CT Imaging.	Cureus. 2025 Jan 4;17(1):e76897. (オンライン)	Case Report
244	Horibata K, Kondo S, Hashimoto S, et al	総合診療部	An observational study to determine the optimal physical evaluation site for detecting anemia.	J Gen Fam Med. 2025 Feb 14;26(3):246–254. (オンライン)	Original Article
245	Watanabe T, Matsuno Y, Wakabayashi M, et al	血液内科	Analyzing the risk factors for disease progression within 2A?years and histological transformation in patients treated with rituximab plus cyclophosphamide, doxorubicin, vincristine, and prednisone as first-line treatment: A 15-year follow-up of patients with advanced follicular lymphoma in JCOG0203.	Hematol Oncol. 2024 May;42(3):e3272.	Original Article
246	Hiratsuka H, Akahori Y, Maeta S, et al	血液内科	Fast on-rates of chimeric antigen receptors enhance the sensitivity to peptide MHC via antigen rebinding.	J Biol Chem. 2024 Sep;300(9):107651.	Original Article
247	Katsurahara M, Nakamura M, Hamada Y, et al	光学医療診療部	Gastrointestinal: A case of ulcerative colitis complicated by Tolosa-hunt syndrome and pyoderma gangrenosum and featuring rare extraintestinal manifestations.	J Gastroenterol Hepatol. 2024 Dec;39(12):2473–2474.	Original Article
248	Funao H, Shimaoka M, Kako J	看護部	Feasibility and Safety of Virtual Reality-Based Online Group Discussions Among Nursing Students: A Cross-Sectional Study.	Cureus. 2025 Jan 27;17(1):e78089. (オンライン)	Original Article
249	Katoh D, Senga Y, Mizutani K, et al	病理部	Negative regulation of lymphangiogenesis by Tenascin-C delays the resolution of inflammation.	iScience. 2025 Jan 6;28(2):111756. (オンライン)	Original Article

250	Hashizume R, Xu Y, Ikejiri M, et al	病理部	A 3000-year-old founder variant in the DRC1 gene causes primary ciliary dyskinesia in Japan and Korea.	J Hum Genet. 2024 Dec;69(12):655–661.	Original Article
251	Hashizume R, Wakita S, Sawada H, et al	病理部	Trisomic rescue via allele-specific multiple chromosome cleavage using CRISPR-Cas9 in trisomy 21 cells.	PNAS Nexus. 2025 Feb 18;4(2):pgaf022. (オンライン)	Original Article
252	Nishimura T, Fujimoto H	救命救急・総合集中治療センター	Challenges and Issues for an Aging Society: Can We Realize the Maximum Happiness of the Greatest Number?	Chest. 2024 Jul;166(1):e21.	Original Article
253	Nishimura T, Fujimoto H, Fujiwara T, et al	救命救急・総合集中治療センター	Impact of immune-related adverse events on survival outcomes in extensive-stage small cell lung cancer patients treated with immune checkpoint inhibitors.	Cancer Med. 2024 Apr;13(8):e7188.	Original Article
254	Nishimura T, Fujiwara T, Fujimoto H	救命救急・総合集中治療センター	When and how should next-generation sequencing and comprehensive genomic profiling assays be performed?	Cancer Sci. 2024 Sep;115(9):3194–3195.	Original Article
255	Nishimura T, Fujimoto H	救命救急・総合集中治療センター	PFS, OS or toxicity: what is the most important factor in the treatment of EGFR-mutated lung cancer?	Ann Oncol. 2025 Feb;36(2):220–221.	Letter
256	Nishimura T, Fujimoto H, Fujiwara T, et al	救命救急・総合集中治療センター	Transforming Lung Cancer Management: A Promising Case Study of Immune Checkpoint Inhibitor Success Following a Multidisciplinary Approach.	Diagnostics (Basel). 2024 Sep 28;14(19):2159. (オンライン)	Original Article
257	Okano T, Fujimoto H, Ito T, et al	救命救急・総合集中治療センター	Radiological and Pathological Analysis of Pembrolizumab-Associated Lung Lesions: Diagnostic Challenges and Management.	Am J Case Rep. 2025 Jan 8;26:e945022. (オンライン)	Case Report
258	Tanaka F, Maeda M, Nakayama R, et al	放射線部	A Combination of Amide Proton Transfer, Tumor Blood Flow, and Apparent Diffusion Coefficient Histogram Analysis Is Useful for Differentiating Malignant from Benign Intracranial Tumors in Young Patients: A Preliminary Study.	Diagnostics (Basel). 2024 Jun 12;14(12):1236. (オンライン)	Original Article
259	Kishi S, Maeda M, Kogue R, et al	放射線部	SWI brush sign of cerebral parenchymal veins in central nervous system diseases.	Jpn J Radiol. 2025 May;43(5):726–735.	Original Article
260	Takafuji M, Kitagawa K, Ishida M, et al	放射線部	Dynamic CT-perfusion parameters as indicators of microcirculation: investigation in patients without obstructive coronary artery disease.	Clin Radiol. 2025 Feb;81:106766.	Original Article
261	Takafuji M, Kitagawa K, Mizutani S, et al	放射線部	Super-resolution deep learning reconstruction for improved quality of myocardial CT late enhancement.	Jpn J Radiol. 2025 Mar 12.	Original Article
262	Matsukawa M, Maeda M, Tanaka F, et al	放射線部	Kearns-Sayre syndrome with restricted diffusion in subcortical white matter and extraocular muscle atrophy.	Radiol Case Rep. 2025 Mar 15;20(6):2646–2650. (オンライン)	Case Report
263	Omori Y, Fujimori M, Yamanaka T, et al	放射線部	Role of Repeated Radiofrequency Ablation for Patients with Lung Metastases of Head and Neck Adenoid Cystic Carcinoma: Long-term Single-center Study in 16 Patients with 289 Tumors.	Interv Radiol (Higashimatsuyama). 2025 Feb 7;10:e20240015. (オンライン)	Original Article
264	Tanaka F, Maeda M, Kishi S, et al	放射線部	Updated imaging markers in cerebral amyloid angiopathy: What radiologists need to know.	Jpn J Radiol. 2025 May;43(5):736–751.	Original Article

265	Goto M, Sakamoto R, Wakabayashi H, et al	総合診療科	What dress code do we teach students and residents? A survey of patients' and their families' preferences regarding physicians' appearance	ASIA PAC SCHOLAR.2024 JUL:9(3):9	Original Article
266	Koike Y, Sato Y, Higashi K, et al	小児外科	Dynamic pathology in various disease-model mice using multiphoton laser scanning microscopy	J PEDIATR SURG OPEN.2024 OCT:8:9	Original Article
267	Suzuki H	脳神経外科	Clazosentan, first approval in Japan: Has perioperative management of subarachnoid hemorrhage changed?	BRAIN HEMORRHAGES.2024 APR:5(2):2	Original Article
268	Nampe M, Kawakita F, Asada R, et al	脳神経外科	Increased plasma pigment epithelium-derived factor (PEDF) concentrations as a negative predictor of angiographic vasospasm after aneurysmal subarachnoid hemorrhage	BRAIN HEMORRHAGES.2024 AUG:5(4):8	Original Article
269	Suzuki H, Nakajima H, Ichikawa T, et al	脳神経外科	Beneficial effects of clazosentan add-on treatment on delayed cerebral microcirculatory disturbances after aneurysmal subarachnoid hemorrhage	BRAIN HEMORRHAGES.2024 APR:5(2):7	Original Article
270	Shiraishi M, Shiraishi A, Kodama T, et al	形成外科	Effects of combination Use of pectoral nerve block and serratus plane block on acute pain following breast reconstruction with a tissue expander: a prospective cohort study in Japan	EUR J PLAST SURG.2024 AUG:47(1):7	Original Article
271	Iwamoto T, Fujimoto H, Kobayashi T, et al	薬剤部	Lymphocyte activation markers predict the therapeutic response to immune checkpoint inhibitors: A case-control study	CANCER MED-US.2024 JUN:13(12):11	Original Article

計271件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

計 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 目的、定義、設置者の責務、委員会等の役割・責務、委員会等の構成及び会議の成立要件等、迅速審査に関すること。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 目的、委員会の設置、申告、審査、指導等、情報開示、管理、利益相反相談室の設置、研究機関の長の責務に関すること。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年2回
・ 研修の主な内容 ・ 「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に関すること (1回) ・ 「臨床研究法」に関すること (1回)	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

--

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	
-------------	--

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
山本 憲彦	総合診療科	教授	31年	
土肥 薫	循環器内科	教授	31年	
俵 功	血液内科	教授	31年	
中川 勇人	消化器・肝臓内科	教授	25年	
新堂 晃大	脳神経内科	教授	24年	H26. 4. 1-H28. 3. 31休職
小林 哲	呼吸器内科	教授	34年	
水野 聡朗	腫瘍内科	准教授	31年	
村田 智博	腎臓内科	講師	26年	
西濱 康太	糖尿病・内分泌内科	助教	16年	
鈴木 圭	感染症内科	教授	23年	
水野 修吾	一般外科	教授	30年	
問山 裕二	消化管外科	教授	28年	
水野 修吾	肝胆膵・移植外科	教授	30年	
佐久間 肇	心臓血管外科	病院長	40年	H5. 11. 1-H8. 3. 31休職
川口 晃司	呼吸器外科	教授	27年	
河口 浩介	乳腺外科	教授	19年	
小池 勇樹	小児外科	講師	22年	H27. 4. 1-H29. 3. 31休職
長谷川 正裕	整形外科	教授	35年	
近藤 英司	産科婦人科	教授	29年	
平山 雅浩	小児科	教授	39年	
岡田 元宏	精神科神経科	教授	34年	
山中 恵一	皮膚科	教授	32年	H15. 5. 16-H17. 6. 30休職
井上 貴博	腎泌尿器外科	教授	31年	
近藤 峰生	眼科	教授	34年	H11. 1. 25-H13. 1. 25休職
佐久間 肇	耳鼻咽喉・頭頸部外科	病院長	40年	H5. 11. 1-H8. 3. 31休職
鈴木 秀謙	脳神経外科	教授	35年	
成島 三長	形成外科	教授	24年	
市川 泰崇	放射線科	教授	27年	
佐久間 肇	病理診断科	病院長	40年	H5. 11. 1-H8. 3. 31休職
奥川 喜永	ゲノム診療科	教授	22年	H25. 4. 1-H27. 3. 31休職 H27. 8. 1-H27. 12. 31休職
賀来 隆治	麻酔科	教授	29年	
賀来 隆治	緩和ケア科	教授	29年	

鈴木 圭	救急科	教授	23年	
新井 直也	歯科口腔外科	教授	36年	H15.4.1-H16.3.31休職
百崎 良	リハビリテーション科	教授	21年	
中島 亜矢子	リウマチ・膠原病内科	教授	39年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
1. クリティカルケア研修会
・研修の主な内容
・ BLS 研修期間・実施回数 2024年4月26日（金）（1回60分）・1回 参加人数 看護師71名、放射線技師2名、臨床工学技師3名、管理栄養士2名、薬剤師8名、 検査部4名、理学療法士2名、作業療法士1名、言語聴覚士1名、 災害対策推進・教育センター1名
・ レベルⅠフィジカルイグザミネーション 研修期間・実施回数 2024年5月7日（火）・8日（水）・10日（金）（1回120分）・5回 参加人数 71名
・ レベルⅠ救急時の対応 研修期間・実施回数 2024年8月2日（金）・6日（火）（1回180分）・4回 参加人数 72名
・Ⅰフィジカルアセスメント（入院患者編） 研修期間・実施回数 2024年6月20日（木）・24日（月）・26日（水）（1回120分）・6回 参加人数 72名
・チーム医療シナリオシミュレーション研修 研修期間・実施回数 2024年10月25日（金）・11月1日（金）（1回130分）・4回 参加人数 看護師69名、放射線技師2名、薬剤師7名、臨床検査技士4名、臨床工学技師3名 管理栄養士1名、理学療法士2名、作業療法士1名、言語聴覚士1名
・レベルⅡフィジカルアセスメント（術後患者編） 研修期間・実施回数 2024年5月24日（金）・27日（月）・30日（木）（1回120分）・6回 参加人数 73名
・人工呼吸器勉強会 研修期間・実施回数 2025年1月22日（水）・29日（水）（1回45分）・4回 参加人数 40名
・レベルⅢフィジカルアセスメント（急変患者対応編①） 研修期間・実施回数 2024年12月2日（月）・3日（火）・9日（月）・13日（金） （1回120分）・4回 参加人数 62名
・レベルⅢフィジカルアセスメント（急変患者対応編②） 研修期間・実施回数 2025年1月9日（木）・10日（金）・14日（火）・17日（金）

(1回120分)・4回

参加人数 61名

2. 看護部クリニカルラダーレベルⅢ、Ⅳ、Ⅴ研修

・研修の主な内容

看護師の能力開発・評価のためクリニカルラダーのシステムがある。そのうち、レベルⅢはリーダーシップを発揮し看護実践ができるレベル、レベルⅣではロールモデルとなれるレベルをめざし、レベルⅤでは、より複雑な状況において患者にとって最適な手段を選択しQOL向上を目指して育成している。レベルⅢでは、看護倫理、リーダーシップ（知識編）、キャリア開発、フィジカルアセスメント（急変対応編①）、フィジカルアセスメント（急変対応編②）、認知症患者の看護、安全管理、経営管理、災害管理について、レベルⅣでは、看護倫理、リーダーシップ（実践編）、看護理論、日常ケアから看護研究へ、安全管理、経営管理について研修を行った。レベルⅤでは、看護研究、教育方法論、看護倫理コーディネーター養成に関する研修を行った。

・研修の期間・実施回数

レベルⅢ 5月～2月 26回（1回60分～120分）

レベルⅣ 6月～3月 19回（1回45分～90分）

レベルⅤ 7月～3月 7回（1回30分～240分）

・研修の参加人数 延べ733名

レベルⅢ 573名、レベルⅣ 142名、レベルⅤ 18名

・ラダー認定者数 レベルⅢ 23名、レベルⅣ 4名 レベルⅤ 0名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

職員研修会：基本理念・基本方針、職員の行動規範、患者の権利、医療安全管理について
合同研修会：医療情報、医療機器、医薬品の安全使用及び肝炎対策について

・研修の期間・実施回数

職員研修会：令和6年4月15日

合同研修会：令和6年4月18日

・研修の参加人数

職員研修会：2,134人（e-learning受講を含む）

合同研修会：2,134人（e-learning受講を含む）

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

--

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
管理責任者氏名	病院長 佐久間 肇
管理担当者氏名	放射線部長 市川 泰崇 薬剤部長 岩本 卓也 医療安全管理部長 兼児 敏浩 感染制御部長 田辺 正樹 臨床工学部長 井上 貴博 医療情報管理部長 土肥 薫 看護部長 福永 稚子 医学・病院管理部総務課長 駒田 雅彦 医学・病院管理部経営管理課長 福田 雄一 医学・病院管理部医事課長 太田 善之 医学・病院管理部医療支援課長 柘植 智司

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	掲げる事項 規則第二十二條の三第二項に	病院日誌	診療に関する諸記録は全科電子カルテを導入。 (患者の署名のある同意書及び医師等が手書きした記録は、スキャンしている。) なお、診療録の病院外への持ち出しは、本院が定める取扱いにおいて禁止している。
		各科診療日誌	
		処方せん	
		手術記録	
		看護記録	
		検査所見記録	
		エックス線写真	
		紹介状	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	
病院の管理及び運営に関する諸記録	掲げる事項 規則第二十二條の三第三項に	従業者数を明らかにする帳簿	従業者数を明らかにする帳簿は人事給与システムにて管理している。
		高度の医療の提供の実績	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	
		高度の医療の研修の実績	
		閲覧実績	
		紹介患者に対する医療提供の実績	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	
	掲げる事項 規則第一條の十一第一項に	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療支援課、医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	総務課、感染制御部	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課、感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	総務課、感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課、感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	総務課、薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	総務課、臨床工学部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課、臨床工学部	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課、医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課、感染制御部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課
		医療安全管理部門の設置状況	総務課、医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	総務課、医療安全管理部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	総務課、医療安全管理部、薬剤部
		監査委員会の設置状況	監査室、総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	各診療科、医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療支援課、医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課、医療安全管理部、総合サポートセンター
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療支援課、医療安全管理部
		職員研修の実施状況	総務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療支援課、医療安全管理部
管理者が有する権限に関する状況	総務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	企画総務部総務チーム、総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安全管理に関する基本的な考え方 ○安全管理のための委員会、その他医療機関内の組織に関する基本的事項 ○安全管理のための職員研修に関する基本方針 ○医療機関内における事故報告書等の医療に係る安全確保のための改善策に関する基本方針 ○医療事故等発生への対応に関する基本方針 ○医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針 ○患者からの相談への対応に関する指針 ○その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（有・無）</p> <p>・ 開催状況：年123回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療安全管理委員会（年12 回） 医事法制に関する事項、医療事故の予防に関する事項、医療事故発生時の対策に関する事項、医事紛争の処理に関する事項、医療訴訟に関する事項、死亡事例及び重症合併症事例に関する事項並びに内部通報窓口（医療安全・倫理ポスト）への投書に関する事項を所掌する。 ○医療の質・倫理検討委員会（年 23 回） 移植医療、終末期医療及び治療拒否等における臨床倫理的問題に関すること、医療安全の確保に資する診療内容のモニタリングに関すること、インフォームド・コンセントの適正な実施についてのモニタリングに関すること並びに職員の医療安全の認識についてのモニタリングに関することを所掌する。 ○医療安全会議（年 76 回） 医療安全に係る検討及び死亡事例・重症合併症事例の検討を行う。 ○リスクマネージャー会議（年 12 回） インシデントレポートの積極的な収集並びに医療安全管理委員会及び医療安全管理部において決定した事故防止策・対応策等の必要な情報を医療現場に周知徹底する。また、各医療現場において、医療事故の原因及び防止方法並びに医療体制の改善方法について、独自に検討及び提言し、独自に事故防止のための研修会及び勉強会を開き、医療事故防止のための啓発活動を行う。 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院長を講師として病院の基本理念や基本方針について、医療サービス担当副病院長を講師として職員の行動規範について、医療安全担当副病院長を講師として医療安全管理についての研修会を実施した。 	

- ・学内講師による医療安全管理及び人生の最終段階における適切な意思決定支援についての研修会を実施した。
- ・外部講師による演題「身体的拘束最小限にむけたはじめの一步」の研修会を実施した。

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (☒ 有 ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :
 ヒヤリハットニュースの発行しており昨年度は9回発行している。
 インシデントレポートから積極的に収集した情報をもとに
 医療安全管理委員会及び医療安全会議において事例の分析を行い、
 事故防止策・対応策等を検討し、リスクマネージャー会議を開催して
 医療現場に周知した。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 院内感染対策に関する基本的な考え方 委員会等の組織に関する基本的事項 職員研修に関する基本方針 発生状況の報告に関する基本方針 感染発生対応に関する基本方針 指針の閲覧に関する基本方針 その他の必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 微生物（耐性菌、CD、感染症法上届け出疾患）の検出状況報告 職員流行性ウイルス疾患等の発生状況報告 病棟ラウンド指摘事項報告 手指衛生状況報告 血液培養2セット率報告 AST活動状況報告 届け出抗菌薬使用状況報告 SSIサーベイランスに関する報告 デバイス関連感染サーベイランスに関する報告 感染症関連の従業員保健に関する内容 指針・マニュアルの改訂に関する内容 地域連携、国公立大学病院感染対策協議会の情報共有 感染症等の最新情報の共有 病院従業者等へのワクチン接種に関する内容 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> 学内講師による標準予防策及び抗菌薬適正使用並びに手指衛生の適応及び正しい手技についての研修会を実施した。 外部講師による演題「職員全員で取り組む感染対策～災害時における感染対策につながる標準予防策の徹底について～」、学内講師による演題「院内感染対策・抗菌薬適正使用について」の研修会を実施した。 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) その他の改善のための方策の主な内容： <p>院内にて迅速な対応が必要な感染症が院内の検査にて判明した場合、検査部より感染制御部に連絡が入ることとなっており、感染制御部が直ちに部署に出向き、感染対策を実施している。</p> <p>入院時の持ち込み感染症については、病棟より感染制御部へ連絡が入ることとなっている。</p> <p>従業者の感染症罹患については、感染制御部のホームページに専用の報告フォームがあり、フ</p> 	

フォームに入力することで感染制御部に報告されるシステムが確立されている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	○・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 全職員対象：医薬品安全管理担当者を講師とし、医薬品安全使用の研修会を実施した 医療安全管理部薬剤師を講師として新入職員対象研修（医療安全）を実施した 薬剤部職員を講師とし、研修医を対象に、麻薬の取扱いに関する研修会を実施した 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 手順書の作成（○・無） 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品の採用 2. 医薬品の購入 3. 医薬品の管理 4. 医薬品の請求と調剤・交付 5. 未承認薬・適応外使用薬の適正使用手順 6. 与薬・施用と薬剤管理指導 7. 医薬品の安全使用にかかる情報の取扱い 8. 重大な有害事象の予防・対応 9. 医薬品等の臨床試験（治験）および製造販売後調査に係る取扱い 10. 研修医等による医薬品の取扱いの制限 <ol style="list-style-type: none"> 11. 各部門における手順 12. 地域連携 13. 医薬品安全使用のための業務手順書について 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 医薬品に係る情報の収集の整備（○・無） 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： <ul style="list-style-type: none"> Vision Blue（トリパンプルー；眼科手術用色素製剤） ILM Blue（ブリリアントブルーG；眼科手術用色素製剤） グルタルアルデヒド溶液（人工心膜の固定） リファンピシン溶液（人工血管の感染予防） エチレンジアミン四酢酸溶液（眼帯状角膜変性に対しキレートによるCa除去） フェノールグリセリン注（薬剤抵抗性がん性疼痛の緩和目的のクモ膜下ブロック） ポビドンヨード・シュガー軟膏（褥瘡、皮膚潰瘍） 味質液（味覚脱失等の検査） その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 電子カルテ端末から電子医薬品集、添付文書改訂情報、包装変更や供給状況など製薬企業からの情報を全職員が閲覧可能としている。 医薬品の安全使用に関する院内報（DI-Weekly、薬剤部ニュース、くすりの適正使用情報）を 	

発行し、職員メールによる配布のほか、職員用エレベーターホールへの掲示、病院ポータルサイトへ掲載している。

- ・病棟薬剤師、手術部薬剤師、医薬品情報室、医療安全管理部、医薬品安全管理責任者、リスクマネージャーで週一回ミーティングを実施、医薬品に関する情報やインシデントを共有し、対応策の検討を行っている。
- ・薬剤師が行った疑義照会のうち、重大（レベル0c相当）事例を、医療安全管理委員会、リスクマネージャー会議、科長会議へ報告し、注意喚起および改善策の検討を行っている。
- ・薬剤部で把握した適応外使用事例を、未承認新規医薬品・医療機器評価委員会へ報告し、委員会で内容および必要な対応を検討している。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 76 回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 医療機器安全管理責任者を講師として、全職員を対象に医療機器に関する安全使用について研修会を実施した。 研修医や新人看護師、病棟移動看護師に対し、臨床工学技士を講師として医療機器の操作および安全使用について研修会を実施した。 特に技術の習得が必要と考えられる医療機器については、実地研修（使用方法や有用性・安全性に関する事項、トラブル発生時の対応含む）を実施した。 新規導入する医療機器に対して、メーカー担当者を講師とした研修会を開催。なお、研修会の実施においては、あらかじめ使用する職員の名簿を作成したうえで日程調整を行い、操作およびトラブル対応などについて実地研修を実施し、全員受講できるよう複数回実施した。 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 医療機器に係る計画の策定 (有・無) 機器ごとの保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 臨床工学技士による点検もしくはメーカー委託による点検を実施 点検内容は、機器の自己診断機能を含む動作点検やアラーム動作点検、精度点検、初期設定項目の確認を実施 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： <ul style="list-style-type: none"> 脳底動脈瘤に対するPipeline Embolization Deviceの使用 イノウエバルーンを用いた三尖弁狭窄に対する治療 Bulging sinus 付き fan-shaped 弁内装 PTFE 人工血管導管（パッチ）の使用 ゴア バイアバーン ステントグラフトを用いた鎖骨下動脈瘤に対する血管内治療 その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 未承認医療機器や適応外使用の医療機器を用いた医療の提供を行う事例は、未承認新規医療機器等を用いた医療の提供の適否等にかかる担当部門（医療安全管理部・サーベイランスチーム）へ報告し、未承認新規医薬品・医療機器評価委員会において内容を審議する。 診療、支援部門（手術部、アンギオ室、内視鏡室など）において、把握していない高難度新規医療技術が実施されていないかサーベイランスチームにより調査を行い、その結果を高難度新規医療技術評価委員会に報告する。 PMDAから随時配信される情報やメーカー等から得た情報は、医療安全管理部を通して関係部署に周知し、必要があればリスクマネージャー会議（月1回）にて報告する。 	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	① 有・無
<p>・ 責任者の資格 (医師・歯科医師)</p> <p>・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者が、医療安全管理部長及び医療安全管理委員会委員長を担っており、これらを統括している。また、医療安全管理委員会には、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が構成員となっており、医療安全管理責任者が各責任者を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	② 有 (3名)・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品に係る添付文書等やメーカー、インターネット、文献等から情報を収集し、整理した上で、薬剤部発行の院内医薬品情報誌やオンライン医薬品集、薬剤部ホームページへの掲載、必要に応じて院内メールや文書等による通知、病棟担当薬剤師によるカンファレンス等での説明、その他掲示等により周知を行っている。</p> <p>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>調剤や病棟薬剤業務における疑義照会時に未承認薬や適応外薬のスクリーニングを行い、把握した事例について未承認新規医薬品・医療機器評価委員会で報告し、適宜、同委員会への審議申請を図っている。当該委員会に付議された申請のうち、医薬品に係る審議事項の事前調査と委員会での説明と審議を行っている。委員会で承認された適応外使用について、データベースを作成し薬剤部員で情報共有している。</p> <p>・ 担当者の指名の有無 (有・無)</p> <p>・ 担当者の所属・職種：</p> <p>(所属：薬剤部医薬品情報室，職種：薬剤師)</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	④ 有・無
<p>・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無)</p> <p>・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>診療情報管理士が抽出したカルテを、各診療科の医師リスクマネージャーが評価を行い、その内容を医療安全管理部が確認する。</p>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	⑨・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>診療録等の管理に関する責任者（副病院長 医療安全担当）を配置し、医師、看護師、診療情報管理士において診療記録の質的監査チェックシートを基に実施する。</p> <p>監査項目は、日々の診療記録の記載がされており且つ、診療計画の立案、適切なプロセスでインフォームド・コンセントが実施され同意書が得られているか、カンファレンスの開催内容が適切に記載されているか等をチェックする。</p> <p>監査報告、指導については医療情報・診療記録管理委員会で今後の記載に当たっての注意事項、改善方法等について指導を行っている。また、診療科長、主治医、教育医長、看護師、薬剤部長、栄養診療部栄養士長、リハビリテーション部技師長にも質的監査チェックシートを送付し、報告している。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	⑨・無
<p>・所属職員：専従（6）名、専任（1）名、兼任（3）名</p> <p>うち医師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（1）名</p> <p>うち薬剤師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（1）名</p> <p>うち看護師：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> （1） 医療の質・倫理検討委員会及び医療安全管理委員会に係る事務に関すること。 （2） 医療事故その他の医療安全管理部において取り扱うことが必要なものとして病院長が認める事象が発生した場合における診療録その他の診療に関する記録の確認、患者又はその家族への説明、原因の究明の実施その他の対応の状況の確認及び当該確認の結果に基づく職員への指導に関すること。 （3） インシデントレポートの収集・調査・防止対策及び防止対策の周知徹底に関すること。 （4） 医療事故防止・安全管理に係わる病院内の巡視・点検・評価に関すること。 （5） 医療事故防止・安全管理に係わる業務改善の提言・指導に関すること。 （6） 医療安全に係わる教育・研修・啓発に関すること。 （7） 医療事故防止対策マニュアルに関すること。 （8） 医療安全会議及びリスクマネージャー会議に関すること。 （9） 内部通報窓口（医療安全・倫理ポスト）に関すること。 （10） 医療安全の確保に資する診療内容のモニタリングに関すること。 具体的には、血栓予防や転倒転落防止のための症例件数を把握 （11） 職員の医療安全の認識についてのモニタリングに関すること。 具体的には、インスリンに関する認識と適正使用に関する実態調査を実施している （12） インフォームド・コンセントの適正な実施についてのモニタリングに関すること。 （13） 高難度新規医療技術を用いた医療の提供の適否等の決定に係る業務及び規程の遵守状況の確認等に関すること。 （14） 未承認新規医薬品を用いた医療の提供の適否等の決定に係る業務及び規程の遵守状況の確認等に関すること。 （15） 未承認新規医療機器を用いた医療の提供の適否等の決定に係る業務及び規程の遵守状況の確認等に関すること。 （16） 死亡事例及び重症合併症事例に関すること。 （17） 医療安全に係る患者相談に関すること。 	

<p>(18) その他医療の安全管理に関すること。</p> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p> <p>※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>
<p>⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（6 件）、及び許可件数（6 件） ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無） ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無） ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 診療科からの申出内容を確認し、高難度新規医療技術評価委員会に対して意見を求める。 (2) 高難度新規医療技術評価委員会からの意見を踏まえ、当該医療技術の提供の適否等について決定し、その結果を病院長に報告を行った上、診療科の長に通知する。 (3) 当該医療技術について定期的及び必要な場合に、手術記録、診療録等の記載内容、診療科からの報告により規程の遵守状況を確認する。 ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無） ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無）
<p>⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（135 件）、及び許可件数（132 件） ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無） ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無） ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 診療科からの申出内容を確認し、未承認新規医薬品・医療機器評価委員会に対して意見を求める。 (2) 未承認新規医薬品・医療機器評価委員会からの意見を踏まえ、当該未承認新規医薬品等の使用の適否等について決定し、その結果を病院長に報告を行った上、診療科の長に通知する。 (3) 当該未承認新規医薬品等について定期的及び必要な場合に、手術記録、診療録等の記載内容、診療科からの報告により規程の遵守状況を確認する。 ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無） ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（<input checked="" type="radio"/>有・無）
<p>⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 212 件

- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 237 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
 - ・医療安全管理部への報告の実施状況を確認させ、確認結果を病院長へ報告させること。
 - ・医療安全管理部への報告の実施状況が不十分な場合には、適切な報告のための職員等への研修及び指導を行わせること。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（☒有（病院名：信州大学医学部附属病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（☒有（病院名：群馬大学医学部附属病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況
 - ①医療事故調査委員会の規定がないことを助言されたため、三重大学医学部附属病院事例調査委員会内規を作成した
 - ②未承認新規医薬品の委員会の開催要件について、実際には法令の基準を満たしているが規定への記載がなく、記載することを助言された。そのため、三重大学医学部附属病院未承認新規医薬品・医療機器評価委員会規定第 6 条に開催要件を追記した。
 - ③高難度新規医療技術は、急性期モニタリングが不足しており、能動的な仕組の構築について助言を受けた。そのため、「実施計画書」の提出を義務付ける事で実施日を把握し、実施直後のモニタリングを開始した。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

患者からの相談に応じる部門として、総合サポートセンターを設置している。内容が医療安全に係る疑いがある場合は、情報を医療安全管理部に提供する。

投書箱に寄せられた意見・苦情については、患者サービス委員会で情報共有・検討される。同委員会には医療安全管理部長が委員として出席し、患者からの意見・苦情等の内容・対応等について検討、実践、フィードバックを行っている。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況

合同研修会（臨床工学部、薬剤部、医療情報管理部、肝炎相談支援センターがそれぞれ講師を担当）、保険診療に関する研修会、褥瘡に係る研修会、診療用放射線の安全利用の研修会を実施した。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が、日本医療機能評価機構が主催する「2024 年度特定機能病院管理者研修」を受講した。

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

令和 7 年 6 月 日本医療機能評価機構による病院機能評価「一般病院 3(3rdG:Ver. 3.0)」を受審
令和 7 年 8 月 中間的な報告

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

本院 HP にて専用ページを設けて公表している。

・評価を踏まえ講じた措置

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

・ 基準の主な内容

1. 医療法（昭和23年法律第205号）第10条の規定に則った者であること。
2. 医療の安全の確保のために必要な資質・能力として、医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力を有すること。
3. 当院を管理運営する上で必要な資質・能力として、当院の基本理念・基本方針（下記参照）を理解し、その実現に向けた強い意志と統率力（リーダーシップ）、改革精神、コンプライアンス意識、当院又は当院以外の病院での組織管理経験を有し、医学部附属病院の安定的な経営基盤の確立と効率的な組織編成を実現できる総合的な能力を有する者であること。
4. 医学部附属病院の現状を正確に分析するとともに、中長期的な目標に向かって将来ビジョンを具体的かつ明確に示し、医学部附属病院の課題について、医学部長及び学長と連携して取り組むことができる者であること。
5. 三重県の拠点病院として地域医療に貢献するために必要な資質・能力として、三重県や三重県医師会、関係病院、その他関係機関と連携協力していく指導力及び調整力を有すること。

【三重大学医学部附属病院の基本理念・基本方針】

◆基本理念

本院は、信頼と安心が得られる地域医療の拠点として、未来を拓く診療・研究を推進し、人間性豊かな優れた医療人を育成します。

◆基本方針

- ✓ 地域の拠点病院として、安全で質の高い先進的な医療を提供します。
- ✓ 臨床研修機関として、次代の担い手となる人間性豊かな人材を育成します。
- ✓ 新しい医療を目指す臨床研究を推進し、社会に貢献します。
- ✓ 医療・医育機関との連携・支援を推進し、地域医療の発展に尽くします。
- ✓ 疾病の予防を目指した教育・研究を推進します。
- ✓ 上記の基本方針を推進するために、健全で成長性のある病院経営を行います。

・ 基準に係る内部規程の公表の有無（☒有・無）

・ 公表の方法

三重大学ホームページへの掲載、公募の案内文書を郵送する際に同封

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（有・無） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（有・無） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（有・無） ・ 公表の方法 三重大学ホームページへの掲載 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
西岡 慶子	国立大学法人 三重大学		規程第3条第1項第1号に基づく学長 が指名する理事地域共創担当の理事 として、大学の将来構想について豊富 な知見を有しているため	有・無
平山 雅浩	同上		規程第3条第1項第2号に基づき役職 指定	有・無
佐久間 肇	同上		規程第3条第1項第3号に基づき役職 指定	有・無
坂東 泰子	同上		規程第3条第1項第4号に基づき医学系 研究科から推薦された大学教員 基礎医学系大学教員として、医学・医 療に関する教育・研究について豊富な 経験を有しているため	有・無
兼児 敏浩	同上		規程第3条第1項第5号に基づき医学部 附属病院から推薦された職員 医療安全担当の副病院長として、病院 管理の上で特に重要な医療安全につ いて豊富な知見を有しているため	有・無
福永 稚子	同上		規程第3条第1項第6号に基づき 役職指定	有・無
織田島 孝広	同上		規程第3条第1項第7号に基づき 役職指定	有・無
伊藤 利宏	同上		規程第3条第1項第8号に基づき 役職指定	有・無
大鳥 精司	国立大学法人 千葉大学		規程第3条第1項第9号に基づき 学長が委嘱する学外有識者特定機 能病院の病院長として、医学・医 療や病院の管理について豊富な知 見を有しているため	有・無
辻 保彦	辻製油株式	○	規程第3条第1項第9号に基づき 学長が委嘱する学外有識者地元企 業の経営者として、法人経営や地 域の経済・社会について豊富な知 見を有しているため	有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無			有・無
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>(1) 人事に関する事項</p> <p>(2) 診療に関する事項</p> <p>(3) 予算の配分方針に関する事項</p> <p>(4) 組織の設置廃止の方針に関する事項</p> <p>(5) 病院諸規程の制定改廃に関する事項</p> <p>(6) その他病院長が必要と認める事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>・毎月第4水曜に開催する科長会議での周知。</p> <p>・院内メールや紙資料配付による周知。</p> <p>・特に周知徹底が必要な事項については、別途緊急集会を開催。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・無）</p> <p>・公表の方法</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（有・無）</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
佐久間 肇	○	医師	病院長
土肥 薫		医師	副病院長（地域連携・診療(内科系)担当） 循環器・腎臓内科学分野 教授
水野 修吾		医師	副病院長（総務・診療(外科系)担当） 肝胆膵・移植外科学分野 教授
近藤 峰生		医師	副病院長（経営担当） 眼科学分野 教授
問山 裕二		医師	副病院長（研究・倫理担当） 消化管・小児外科学分野 教授
兼児 敏浩		医師	副病院長（医療安全担当） 医療安全管理部 教授
福永 稚子		看護師	副病院長（医療サービス担当） 看護部長
伊藤 利宏		事務	副病院長（事務担当） 管理部長
俵 功		医師	血液・腫瘍内科学分野 教授
中川 勇人		医師	消化器内科学分野 教授
小林 哲		医師	呼吸器内科学分野、代謝内分泌内科学分野 教授
新堂 晃大		医師	神経病態内科学分野 教授

岡田 元宏		医師	精神神経科学分野 教授
平山 雅浩		医師	小児科学分野 教授 研究科長
山中 恵一		医師	皮膚科学分野 教授
近藤 英司		医師	産科婦人科学分野 教授
鈴木 秀謙		医師	脳神経外科学分野 教授
長谷川 正裕		医師	運動器外科学・腫瘍集学治療学分野 教授
井上 貴博		医師	腎泌尿器外科学分野 教授
新井 直也		医師	口腔・顎顔面外科学分野 教授
成島 三長		医師	形成外科学分野 教授
賀来 隆治		医師	麻酔科学分野 教授
田辺 正樹		医師	感染制御・感染症危機管理学分野 教授
川口 晃司		医師	呼吸器外科 教授
山本 憲彦		医師	総合診療部 教授 病院長補佐（教育担当）
奥川 喜永		医師	ゲノム医療部 教授
鈴木 圭		医師	高度救命救急・総合集中治療センター 教授
河口 浩介		医師	乳腺センター 教授
中島 亜矢子		医師	リウマチ・膠原病センター 教授
杉本 和史		医師	検査部 教授
百崎 良		医師	リハビリテーション部 教授
岡本 隆二		医師	臨床研修・キャリア支援部 教授
田丸 智巳		医師	臨床研究開発センター 教授
岩本 卓也		薬剤師	薬剤部 教授
江藤 由美		看護師	病院長特命補佐（看護学科連携担当）

規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（☒有・無）
- ・ 公表の方法
本学ホームページに掲載。
- ・ 規程の主な内容
「病院長は、附属病院の管理、運営をつかさどり所属職員を統括する。」旨を規定し、また、副病院長や病院長補佐等の病院長を補佐する役職の設置についても規定している。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
＜副病院長＞
附属病院の管理運営を円滑に進めるため、病院長の職務を補佐する。
（担当：地域連携・診療（内科系）、総務・診療（外科系）、経営、研究・倫理、医療サービス、医療安全、事務）
＜病院長補佐＞
附属病院の運営を円滑に進めるため、病院長の職務を補佐する。
＜病院長特命補佐＞
附属病院の運営を円滑に進めるため、特別の命を受け、病院長の職務を補佐する。
（担当：メディカルスタッフ、看護学科連携、災害対策推進）
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
病院長以下執行部のほかに各診療科に科長、副科長を置き、科長のもとに統括医長、外来医長、病棟医長、教育医長及び研究医長を置き、それぞれに責任を持たせ担当業務を遂行させている。
日本医療機能評価機構が主催する「2024年度特定機能病院管理者研修」を管理者（病院長）、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者が受講している。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況					(有)・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>医学部附属病院における医療に係る安全管理の状況を監査し、学長または病院長に対して提言を行う。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 公表の方法：本学ホームページに掲載。</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
山崎 正法	公益財団法人暴力追放 三重県民センター 専務理事兼事務局長		医療を受ける者その他の 医療従事者以外の者	有・(無)	2
片山 眞洋	片山総合法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は 法律に関する識見を有する 者その他の学識経験を 有する者	有・(無)	1
小池 敦	三重県立看護大学 看護学部 教授		医療を受ける者その他の 医療従事者以外の者	有・(無)	2
鈴木 明	浜松医科大学医学部 附属病院 医療安全管理室 特任講師	○	医療に係る安全管理又は 法律に関する識見を有する 者その他の学識経験を 有する者	有・(無)	1

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
 3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

三重大学においては、主として監事並びに内部監査部門（監査室）が管理者の業務執行状況を確認している。

「国立大学法人三重大学監事監査規程」第9条では監事の確認対象として、「学長、理事及び職員の職務執行が法令等に違反しないための法令等遵守体制」と明記している。また、同規程第17条では、「監事は、重要な意思決定の過程及び業務の執行状況を把握するため、役員会のほか、経営協議会、教育研究評議会、その他の重要な会議又は委員会に出席することができ、必要であると認めたときは、意見を述べることができる」となっている。これに基づき、監事は、下記（※）の大学本部の重要会議に出席し、管理者からの病院事業報告の状況を確認しており、監査室も原則同席している。

（※役員会、経営協議会、教育研究評議会、全学マネジメント委員会、教育・学生会議、危機管理委員会）

また、主として下表の病院関連各種重要会議に出席して法令等の遵守状況、管理者の開設者への事業報告状況、病院の経営状況を確認している。加えて、監事が会議等で必要に応じて事務担当者に資料を求め内容を確認している。

更に、学長・理事が病院マネジメント会議に出席し、大学本部と病院との連携強化に取り組んでいることも確認している。

（令和6年10月～令和7年9月の病院関連各種会議への出席状況）

会議名	主たる議題	出席回数 （監事）	出席者
病院マネジメント会議	業績、医療安全、当局指摘対応、労務管理（医師の働き方改革等）ほか	19 回	監事、監査チーム（監査室）
医療安全管理委員会	医療事故報告、継続フォロー案件報告ほか	8 回	監事
メディカルマネジメント委員会	診療体制、診療稼働及び経営改善ほか	11 回	監事、監査チーム（監査室）
医療の質・倫理検討委員会	日本産科婦人科学会で定める着床前遺伝学検査（PGT-M）の審議事案がある際に監事出席	1 回	監事
病院監査委員会	外部委員会：医療安全体制に関するアドバイス（医療法施行規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号）	1 回	監事、監査チーム（監査室）
病院監督管理委員会	外部委員会：予算執行及び管理運営の状況等（医療法施行規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロ）	1 回	監事、監査チーム（監査室）

※事務組織改編により令和7年4月より監査チームが監査室となった。

これら活動の状況は、月締めで監事が作成し、監査室から開設者及び管理者等に監事病院関連活動報告書として提出している。

該当期間においては、附属病院の「医師の働き方改革」について、定着・改善状況を確認している。

法令遵守に関する体制としては、「国立大学法人三重大学におけるコンプライアンスの推進に関する規程」によりコンプライアンス体制を整備しており、学長が附属病院を含む全学のコンプライアンスに関する管理責任者として最終責任を負い、本学のコンプライアンスの推進を図り、公正・公平かつ誠実な業務の遂行を確保するため、コンプライアンス委員会を設置している。コンプライアンス教育の啓発活動として令和6年度においても令和5年度に引き続き学内において部局別に顧問弁護士によるコンプライアンス研修会が実施されていることを確認した。また、附属病院にお

いては保険診療等に関するコンプライアンス研修会が実施されたことを確認した。更には、令和7年度においても部局別に顧問弁護士によるコンプライアンス研修会を開催予定であることを確認した。

また、内部監査部門や病院担当者に人事異動があった際にも、開設者による監督体制の必要性について再周知し、体制が形骸化しないよう努めている。

・ 専門部署の設置の有無 (☒ 有 ・ 無)

・ 内部規程の整備の有無 (☒ 有 ・ 無)

・ 内部規程の公表の有無 (☒ 有 ・ 無)

・ 公表の方法

(三重大学規則集HP) <https://www.mie-u.ac.jp/koukai/kisoku/index.html>

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 大学の理事会（本学においては役員会）とは別の会議体として、平成30年7月に「三重大学医学部附属病院監督管理委員会」を設置し、第2回を令和2年9月、第3回を令和4年3月23日、第4回を令和5年3月23日、第5回を令和6年2月19日、第6回を令和7年2月28日に開催した。 委員は5名で、うち3名が外部委員（本学と利害関係のない者）となっており、点検・監督の結果は報告書にまとめ、役員会にて報告している。 ・ 会議体の実施状況（ 年 1 回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ）（ 年 1 回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ） ・ 公表の方法 本学ウェブサイトにて公表 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：三重大学医学部附属病院監督管理委員会規程			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
西岡 慶子	国立大学法人三重大学		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
織田島 孝広	同上		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
高木 純一	鈴鹿医療科学大学	○	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
大友 克之	朝日大学		有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
辻 保彦	辻製油株式会社		有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ）・ 通報件数（年 21 件）・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ）・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ）・ 周知の方法 医療安全会議、リスクマネージャー会議、ヒヤリハットニュース等において、全職員に周知を図り、また、そのことが周知されたか否かについて、リスクマネージャーに再度確認を行っている。 各種職員研修（全員研修・新人研修・中途採用研修・研修医研修等）にて周知している。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 佐久間 肇
閲覧担当者氏名	医学・病院管理部総務課長 駒田 雅彦
閲覧の求めに応じる場所	医学・病院管理部総務課総務係
閲覧の手続の概要 ①規程に定められた閲覧申込書を、原則として閲覧を希望する2週間前までに病院長に提出する。 ②病院長は、前記の申込みを適当と認めるときは、閲覧承認書を交付する。 ③閲覧に際しては、閲覧担当者が立ち会った上で行う。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数		延	0	件
閲 覧 者 別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>病院ホームページでの情報発信のほか、医学系研究科・附属病院概要など各種広報誌の発行や公開講座の実施など、広く情報発信を行っている。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>がんセンター等で診療科間及び職種の枠を越えた連携によるチーム医療、集学的治療を推進している。また、本院において個々に展開されているチーム医療の機能を高め、チーム間の連携を強化することによって、診療のサポートをより効果的・効率的に行い、医療の質の向上に繋げることを目的としたチーム医療推進センターを設置しており、チーム医療の機能及び連携の強化を行っている。</p>	